

平成27年度 液化石油ガス地方懇談会(質問、意見等)
(石油ガス流通合理化調査)

平成28年3月31日

付 表

消費者委員からの質問、意見等

1. 開催地域別の件数と個別意見

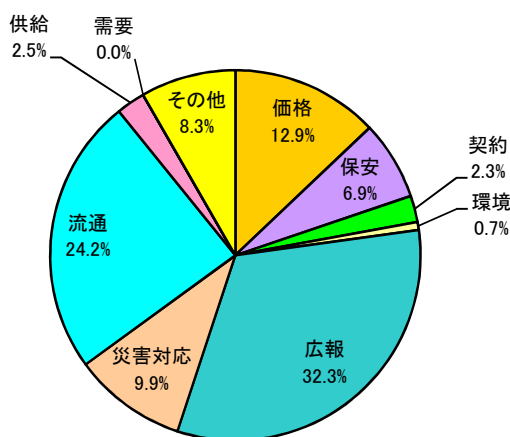
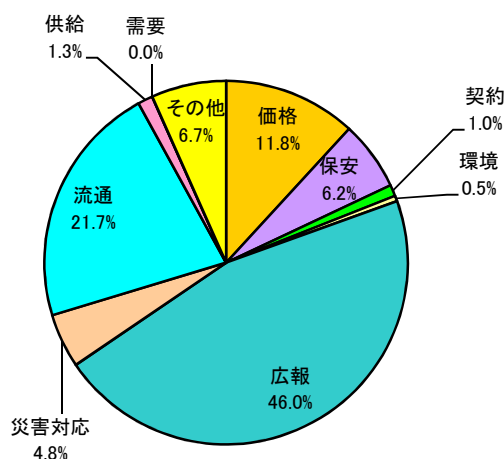
(参考)

	北海道	東北	北関東	南関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計	%	26年度	26年度%	25年度	25年度%
価格	20	6	1	15	3	8	4	7	7	71	12	56	13	137	34
保安	7	4	0	8	0	2	3	6	7	37	6	30	7	22	6
契約	2	1	1	0	0	0	0	0	2	6	1	10	2	49	12
環境	1	0	0	1	0	1	0	0	0	3	1	3	1	1	0
広報	25	30	21	32	19	43	16	37	53	276	46	140	32	24	6
災害対応	1	10	3	3	1	3	1	1	6	29	5	43	10	89	22
流通	12	14	17	11	19	19	23	6	9	130	22	105	24	44	11
供給	2	0	1	2	0	1	0	0	2	8	1	11	3	23	6
需要	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
その他	9	0	4	5	3	0	3	0	16	40	7	36	8	7	2
合計	79	65	48	77	45	77	50	57	102	600	100	434	100	398	100

注) 質問事項の分類及び内容は出来るだけ質問者の意向を反映させていますが、同一発言の中に幾つかの内容がある場合はそれを1件として別に表示しています。
従って、質問数は質問内容の区分による件数を単純に集計したものです。

分類別意見件数比率

【参考】26年度分類別意見件数比率



2. 分類別概要

- (1) 価格 71件(11.8%)
- ①料金の明確化、料金体系 29
 - ②価格の周知 19
 - ③価格の差異(地域、業者間) 5
 - ④価格の円高差益還元 0
 - ⑤価格競争(値下げ努力、競合燃料) 14
 - ⑥その他 4
- (2) 保安 37件(6.2%)
- ①LPガス設備機器の安全性について 21
 - ②販売事業者の保安への取組み 11
 - ③保安点検・指導の実施 3
 - ④事故要因と対策 0
 - ⑤緊急時対応(地震災害など) 1
 - ⑥マイコンメーターについて 0
 - ⑦その他 1

(3)契約	6件(1.0%)	
	①書面交付(契約履行、内容説明等)	3
	②販売先の変更、契約解除問題	2
	③解約時の配管他費用負担	0
	④特定商取引法	1
	⑤その他	0
(4)環境	3件(0.5%)	
	①新エネルギー	0
	②CO2排出量関連(他燃料との比較、他)	2
	③その他	1
(5)広報	276件(46%)	
	①情報提供、啓蒙	61
	②PR活動	93
	③災害時対応	42
	④ガス機器啓蒙	38
	⑤講習会・懇談会	30
	⑥営業活動	10
	⑦点検	1
	⑧その他	1
(6)災害対応	29件(4.8%)	
	①防災体制の確保	4
	②公的施設への導入	4
	③情報提供等の連携	3
	④供給体制の確保	11
	⑤ボンベの被災	1
	⑥初期対応について	0
	⑦防災協定の締結	1
	⑧国家備蓄	0
	⑨その他	5
(7)流通	130件(21.6%)	
	①流通業者への要望	39
	②消費者へのサービス	21
	③コミュニケーション	67
	④その他	3
(8)供給	8件(1.3%)	
	①安定供給	6
	②新規輸入ソース	1
	③備蓄	0
	④その他	1
(9)需要	0件(0.0%)	0
(10)その他	40件(6.7%)	
	①ガス機器	27
	②エネファーム	0
	③電磁波	0
	④その他	13

3. 消費者からの質問、意見等（詳細）

1) 開催地別

開催地	分類	意見等
北海道	価格	・ハローガスのお店の人達とは、何でも気軽に話せるし、教えてくれる良好な関係ですが、我が町にはLPガスを取扱っているところが7つあるとのことですが、料金体系というのは各々違うのかなという疑問があります。
	価格	・道内におけるLPガス利用者は、150万世帯に至り、生活に欠かせないインフラとして、極めて公共性の高い商品ですが、現状は自由料金制となっています。
	価格	・自由料金制は、業者の説明責任が十分果たされ、消費者の知る権利が満たされ・選択の自由が保障されている事が必要ですが、現状は基本料金と従量料の区分でさえ出来ていない業者が多く、業者選択の自由も集合住宅では不自由な状況となっています。
	価格	・十分とは言えないケースがかなりあると思います。「料金の仕組みが分からない」、「単価を教えてください」、「料金が安い」などの苦情が多く聞かれます。
	価格	・LPガス料金は、日常生活に必要なものとして公共性が高く、他方で、都市部を除くと販売事業者の数も限られており、互いに客を取り合わない慣行があるということも聞かれるなど、消費者が自由に選択できるとは言いがたい状況です。しかも、建物の購入時や賃借時にはすでに特定のLPガス販売事業者の供給設備が設置されている場合は、販売事業者を選択する自由がさらに制限されてしまうのが実際です。こうした実情に鑑みると、自由料金の下で競争によって適正な価格が形成されるとか、消費者に選択の自由があるとは必ずしも言いがたく、行政による何らかの介入が必要ではないとも考えられます。
	価格	・特に、集合住宅においては、ガス料金が安いという指摘が多い。料金内容が十分に説明されていないのではないかと。
	価格	・料金体系（二部料金制・三部料金制）については、全く周知していないのが実情です（販売事業者からは説明ない）。
	価格	・料金体系の情報提供や説明はされていません。
	価格	・通常的には請求金額は気にして、今月は使いすぎ？等と試してみただけでしたが、今回のことで料金のお知らせをよく見たところ、調整費が毎月変動していたということがわかりました。
	価格	・契約時の説明責任や料金改定時の説明も不十分な状況にあると考えます。（特に、学生・単身者が居住する集合住宅において顕著です。）
	価格	・仮にLPガスの自由料金を維持するにしても、その料金について透明性が確保されること、消費者にとって十分理解できることが最低限必要であり、それなくして不当な価格や不当な販売業者の淘汰はあり得ません。消費者が公共料金のように思って、十分な理解を得ないまま契約してしまい、高額な料金請求を受けるようになってから問題に気づいて、トラブルとなっています。事業者側も、そもそも販売契約締結時に液石法の14条書面を交付していなかったり、契約締結時の書面は交付していても、その後の料金改定時に料金表等の交付を怠っているケースも見受けられます。
	価格	・液石法の14条は、「書面の交付」を規定していますが、LPガスの料金体系は一般には分かりにくい面があり、配管や機器等の賃貸料やリース料が含まれる場合（三部料金制など）は、ますます複雑になりますので、販売事業者に分かりやすく説明する義務を課すことも検討すべきと思われます。
	価格	・毎回の請求書等においても、一部の販売事業者ではすでに実践されていますが、基本料金と従量料金の区別など料金の計算方法を分かりやすく記載するように義務づけることも考えられるところです。
	価格	・小売価格の地域差が沖縄と比べても25%も高く納得がゆきません。また、自由料金背性であっても、販売店格差が非常に大きく7(7月調査で最高と最低7では1.7倍以上の差)消費者の納得は難しいと思われます。
	価格	・LPガス北海道内において約150万世帯が使用しており、多くの道民にとって生活に欠かせない、極めて公共性が高いエネルギー源である。従って、安定供給はもとより、適正な価格で消費者に提供される必要がある。
	価格	・LPガス料金価格が高止まりしていることについて、消費者に対し十分な説明がされていない。原料価格、卸価格が大幅に下落した局面においても、小売価格は極めて小幅な値下がりにとどまっている。使用量5㎡の平均価格を月ごとにみると、北海道は過去1年以上の間、6,000円を上回り、6月の平均価格は全国平均価格より、1,121円(約23%)も高い。15年前の水準と比べると、価格差は約2倍に拡大している。(石油情報センター調べ)。全国との価格差が生じる理由については従来から、北海道は他地域に比べ配送コストが高い一方、1戸当たりの使用量が少ないことが挙げられているが、これだけでは価格差が年々拡大していることを受け入れることはできない。この間の変化として、家庭業務用ガス販売量と販売事業者数の減少があるが、北海道における減少率は、どちらもほぼ全国平均並みであり、地域の特殊事情ではない。また、販売事業者の減少は1事業者当たりの販売量を増大させ、計恵規模の拡大などにつながると思われるが、それが十分に価格に反映されていないのは、事業者数の減少により価格競争が逆に阻害されてきたためと推測される。結局のところ、北海道は他地域に比べ、LPガス消費者の選択の自由が狭められ、市場原理が十分に働いていないことが価格差を拡大させてきた最大の理由でと考えざるを得ない。特に賃貸の集合住宅においては、入居者は事実上、販売業者を自由に選択できず、このことが料金の高まりを生じさせている。料金に対する利用者の苦情が圧倒的に多いのが集合住宅であるという事実がこれを裏付けている。
	価格	・前年も申し上げましたが、容器等の設備利用料金を下げるために業者間で共用できませんか。設備の区分については販売店側の説明も不足しており、一般消費者は理解していないのが、トラブルの大きな要因と考えます。もっと、料金の透明化、低廉化を期待します。
価格	・経済産業省総合資源エネルギー調査会、資源・燃料分科会、石油・天然ガス小委員会の平成26年7月付け中間報告書では、「価格の透明性の確保と低廉化が求められている」としながらも、「LPガス事業者が消費者からの信頼を得られるような企業努力が不可欠」とし、行政としては、配送の合理化や供給構造の改善の促進、小売価格や標準価格等のHPへの公表、各地域においてどのLPガス販売業者と契約ができるのかの情報のデータベース化などにより、価格の透明化と選択肢の拡大による適正な競争の実現を後押ししていくとありますが、これらのことはすでに相当程度行われていると思われますし、実効性にも疑問があります。行政として、こうした対応で十分と考えているのか、他にも何らかの方策を考えているのかをお聞きしたいです。例えば液石法の執行強化や、法改正により価格に一定の上限を設けるなどといった方策も考えられるところだと思います。	
価格	・自由料金制度の前提は、競争原理が十分に働き、消費者が事業者を選択する自由が保障されることである。そのためには、料金システムの透明性を高め、消費者が価格やサービス内容を比較して事業者を選び、また変更できることが不可欠である。	
価格	・ガソリン等も価格変動がはげしいですが、LPガスの価格をできるだけ安定させるよう期待しています。海外依存度を下げる方策があればと思っています。	
保安	・我々はLPガスに限らず、全てに安全・安心・便利・快適を求めています。過去の事故などから、目に見えないLPガスに対し安全・安心に一抹の不安を感じます。ガス機器等に更なる改善をお願いします。また、一般消費者に向けては安全使用の注意喚起を進めて下さい。	

	保安	・LPガスの安全・便利への期待は大きなものがあります。
	保安	・電気の方が安全性は高いように感じますが、調理などではLPガスを好む消費者もおり、消費者の選択肢が多いことは基本的に望ましいと思います。 安全面については更なる向上を期待します。
	保安	・保安業務の遵守、行政による監督等。
	保安	・液石法による立入検査に関しては、経済産業省のウェブサイトより、平成27年3月11日付け「平成26年度立入検査の実施状況及び平成27年度立入検査の重点」を読ませていただき、経済産業省本省の立入検査の状況については把握ができました。他方、都道府県による同法の執行状況は、経済産業大臣に報告された後、どのように集約され、公表されているのか教えていただきたいと思います。
	保安	・液石法14条の書面の交付に関し、北海道内において、立入検査等により状況を把握した結果はどうであったか、行政処分・行政指導の件数、具体的内容などを、少なくとも過去5年分程度について教えていただきたいと思います。
	保安	・2000年の有珠山噴火で非難する時も、ガス・水道ともに元栓を閉めましたが安心感がありました。
	契約	液石法14条は書面の交付について、「液化石油ガス販売事業者は一般消費者と販売契約を締結したときは、遅滞なく、(略)書面を交付しなければならない」と規定している。しかし、賃貸住宅においては、消費者が入居後に書面の交付を受けることが多く、そこで初めて料金システムや配管・機器類のリース料の存在を知り、トラブルに至るケースが多いと思われる。 こうした問題を避けるためには、書面に記載されている内容の説明は、ガス販売契約の締結時ではなく、入居契約締結時になされなければならない、そのためには、ガス販売事業者だけでなく、家主(または管理会社)の説明責任もより明確にさせる必要がある。
	契約	・悪事例です。中古住宅を売買する時、LPガス事業者を変更するため設備撤去依頼時すると、18年前の契約時、1年間は無料と言われたガス料金を含め20万の費用を請求された。18年前に遡っての料金請求もだが、請求金額に納得がいかにという相談が近年続いています。特定業者ですが、協会で指導できませんか？
	環境	・特に環境負荷への期待と災害時のエネルギー源としての利便性に期待しています。
	広報	・ユーザーへの情報提供をすすめ、不透明感、不信感を少なくする取り組み。
	広報	・情報提供がしっかり出来ている販売業者は、信頼が厚いです。販売業者の差が大きいのが問題と考えます。事業者協会として自己研鑽お願い致します。
	広報	・料金のお知らせと一緒に届くHELLO GAS LIFEの小冊子も楽しみにしていますし、参考にさせてもらっています。又、営業所勤務の方々が毎月交代で紙面づくりをしたおたよりでより親近感を感じました。
	広報	・LPガス販売指針に基づいて、情報提供している業者もありますが少数だと思います。
	広報	・道内のLPガス販売業者は約1600社との報道がありましたが、中小零細業者が多く、消費者が期待し納得する情報提供・コミュニケーションは現状不十分であり、信頼構築は十分な状況にないと考えています。
	広報	・全国LPTガス協会さんは、今年3月に「LPガス販売指針」の改訂版を出されています。 この内容は、消費者が抱えている疑問・不満をほぼ解決する完成度の高い販売指針と評価していますが。
	広報	・業者によってバラツキがあり全体としては、十分とは思えません。
	広報	・電気、灯油、都市ガス等との競争があるが、PR活動の際は、客観的な評価(数値)で進めてほしい。
	広報	・3.11震災後に分散型エネルギーとしての役割に気付いたばかりで、まだまだPR不足で一般家庭ではあまり認知されていません。また、行政に対しても災害対応としてのPRを強く奨めていますか？
	広報	・一般消費者が認知するには、テレビ、ラジオでのPRが有効かと考えます。
	広報	・PR不足とは思っていません。
	広報	・視覚にうつたえるのは効果的だと思います。
	広報	・広報誌はよいと思いますが、インターネット等の普及率ほどの位なんでしょうか？ 自分の興味のあることには活用されるとは思いますが、我々年代では所有していない家が多いのではと思っています。
	広報	・PR不足と思います。
	広報	PRは、家庭用と避難所のエネルギー源とを分けた戦略が必要です。
	広報	・軒下在庫(ボンベ内容器在庫)が自主備蓄として役立つことは理解できますが、PR不足かどうかはわかりません。
	広報	・これらを行うのであれば、消費者の疑問や不信に答えるようなものとしていただきたいと思います。ただし、費用対効果の問題もありますし、それ以前のこととして、料金体系の透明化や個々の消費者に対する丁寧な説明、請求書・検針票等の記載内容の充実などが徹底されるように取り組んでいただきたいと思っています。
	広報	・平成27年3月改訂のLPガス販売指針にもありますように、料金の算定方法や標準的な料金の公表にとっては有用なツールと思います。
	広報	事業者によって違いがあるように思われる。
	広報	・あまり積極的な感じはしない。
	広報	・質疑等の可能な講習会は、意義があると思う。
	広報	・我が町では、平成25年防災研修会開催時に北海道LPガス協会の防災アドバイザー石原さんにお話頂きましたが、女性だけでなく男性の参加もあり好評でした。 また生活学校関連の“あしたの日本を創る協会”からもLPガス研修会開催しませんかのパンフレットの郵送が何回かありました。
	広報	・講習／研修に関しては、LPガス振興センターから、平成27年7月に当方の企画した勉強会へ講師を派遣していただき、大変参考になりました。こうした活動は有意義なものと思います。
	広報	・かなり以前になりますが、ユニットバスを設置してもらいました。その後長府ボイラーが故障した際、エコジョーズにしたかどうかという提案を受けましたが、一度に払うのは迷っていたら、リースという方法で払うのはどうでしょうといわれ即決いたしました。
	広報	・毎年秋に開催されるガスフェアは楽しみの1つです。
	広報	・現在、内閣府消費者委員会専門調査会で、訪問販売等の不招請勧誘に対する規制が議論されていますが、「提案型営業」は訪問や電話勧誘など方法や程度如何によっては、消費者の迷惑となってその権利を侵害したり、トラブルの原因ともなりかねませんので、注意が必要と思います。
	災害対応	災害時における優位性は、かなり浸透していると思われるが、災害に備えて自主備蓄している家庭は少ないと思われる。公共施設や町会などに重点的に配備することが現実的ではないか。
	流通	・業界の自主ルールである販売指針が徹底されていないことは問題であり、一層の改善努力を求めたい。
	流通	・マスメディアや広報誌を使ったPRや広報活動、研修事業に取り組むのであれば、価格の適正化やサービス向上など、顧客満足度を高める努力を優先して進めて頂きたい。
	流通	・好対応・好事例ばかりでなく、その逆事例も集積し、販売事業者への指導等に役立てていただきたい。
	流通	・問題は、指針と現状のギャップ認識及びギャップ解決の行動計画作成と計画の推進で、消費者に支持される、LPガス販売の実現です。(このことなしには、押し寄せて来るエネルギー大戦争時代をLPガス業界は生き残れないと思います。) LPガス業界には、中小零細業者も多くあり、「LPガス販売指針」を入手しても単独で指針を実現できない業者も多いと思います。 指針についての学習会開催やギャップを埋めるためのシステムサポートが必要です。

北海道

北海道	流通	・おつくりになっている、「LPガス販売指針」の消費者版「LPガス利用者ガイド」を消費者団体と協働で作成してみたいかがですか。
	流通	・消費者団体として、LPガスの特性、排気ガスがクリーンで環境にやさしい事・分散型エネルギーで災害時では活躍したエネルギー源である事等を評価し、業界の発展を願っています。また、過日出されました「LPガス販売指針」が目指している姿は、消費者としても納得する内容が多く、実現を期待している事。
	流通	・平成27年3月改訂のLPガス販売指針(一般社団法人全国LPガス協会の作成)の徹底が求められるところですが、これをいつまでに、どのように実現する考えか、販売事業者、業界側の具体的な方策をお聞きしたいと思います。
	流通	・北海道内のLPガス販売事業者は、積雪寒冷地という不利な経営環境の中で営業し、住民のライフラインを守っているが、1200社以上に上る事業者の中には、消費者に対する説明や情報提供、契約や料金システムの透明性確保などの点で不十分な対応事例も目立ち、価格に対する消費者の不満や契約上のトラブルも多い。
	流通	・年の暮に届くカレンダーにLPガスの緊急連絡先があるのも好感が持てます。
	流通	・戸建て住宅と集合住宅では、格差が大きいと思われる。
	流通	・戸建ての場合、比較的コミュニケーションがとられている。
	流通	・集合住宅の場合、顔の見えない関係が続いている。
	流通	・LPガス業界関係者からの消費者への一方的なPR活動だけでなく、LPガス業界関係者が消費者の意見・疑問を聞き、応える双方向のコミュニケーションの場を期待します。
	流通	・十分とは言えないケースがかなりあると思います。
	供給	・特に意識したことはありませんが、ボンベ2本設置されているので安心して使っていますし、安全で便利があたり前のよう暮らししています。
	供給	・日曜夜の「夢の扉」をよく視聴しますが、日本でのシェールガス採掘の話もありました。期待しています。
	その他	省エネ・省資源、環境問題への貢献につながる商品の普及に期待したい。他のエネルギーと比較したコスト面の優劣に関心がある。
	その他	・炊事用コンロ等には興味がある。
	その他	・次期、リフォームの時使用を考えます。
	その他	・Siセンサーコンロは、みんなに使ってもらいたいと思う(特に高齢になつての消し忘れの人)エコジョーズも熱効率が有効に使われていると聞きました。
その他	・期待したいと思いますが、他のエネルギー源との、コスト面での優位性もしくは、同等の条件確保が必要。	
その他	・省エネルギーに資する商品であれば消費者にとっても有益なものと思います。	
その他	・LPガス販売指針が平成27年3月に改定されたが、その背景には消費者とのトラブルが続いている面があるのではないか。	
その他	・エネファームについては興味がありますが、よくわからないので推測の域を出ないのですが、今回電氣量が上がることで、オール電化住宅に住んでいる人の悲鳴がきこえるようで、そんなことになるのではという懸念はないのでしょうか？	
その他	・LPガスをめぐる種々の問題点は、先にあげたような点も含め、かなり以前から指摘されているところですが、消費生活相談やホクネットが受けた相談等の状況においても、一向に改善が進んでいないという印象があります。業界関係団体を中心とした、販売事業者側の自主的な努力のみによる改善はもはや期待できないところであり、液石法を根拠とする行政処分や指導を徹底することはもちろん、現行法で不十分な点は法改正によって対応することも積極的に検討していただきたいと思っています。	
東北	価格	・自由料金のため、逆に不安を感じる使用者の方が多いと思われるのですが、料金体系の透明化の普及に力を入れておられると思います。
	価格	・料金体系については、特に気にしていませんでした。
	価格	「LPガス改定のお知らせ」や、LPガス器材、製品のパンフレット等は使用料金請求書とともに郵送されますが、その後の検針等で未訪の際に直接説明して下さい。
	価格	・ガスもれ警報機は、いつ点検があるのか不安。使用期限なども。料金体系など知りたいと思うが、チャンスがない。
	価格	・自由に安い店舗から購入できるなら良い。さらに、購入先を安い料金で選べるならもっと良い。ガソリンスタンドのように価格を店舗前に表示したらいいか。
	価格	施工時点から店舗を変えられない束縛があるのだから、一方的に「次月から〇〇円に値上がりします。」の通達だけでの値上げでは納得がいかない。
	価格	・災害時の力強い味方であることは、実感しています。しかし、全国2位のガス料金を支払っている消費者としては、不断の生活にも強い味方であっていただきたい。
	価格	・LPガスは他の燃料と比べて価格が安定しているように思う。今後とも安定的な供給を期待する。
	保安	・1ヶ月に一度の指針の折、保安点検をしていただいておりますので安心して使用しております。
	保安	・毎月検針請求書担当者がポストへ(留守が多いので)入れていってくれます。その中には使用量の他に保安点検も記してあり ◎容器については ・設置場所 ・火気との距離 ・温度上昇防止 ・転倒落損傷防止 ◎外観等の欠陥については ・調整器 ・集合装置 ・供給管 ・バルブ・ガス栓 ◎腐食防止については ・容器・底部 ・集合装置 ・供給管 ・ガス栓 ◎その他 ・メーター異常表示 ・モレ検微少漏洩表示
保安	・○ 災害現場(特に火災時)にはいち早く掛けつけ、ガスボンベの処理をしている姿をよく見かける。 → 販売業者(取扱店)の責任感の強さを感じている。	
保安	・ガス器具の不具合があり連絡した時等は昼夜関係なく掛けつけてくれるので、大変ありがたい。	
契約	契約	・被災地から内地に居住された方からの話ですが・・・ 内陸に家を借り、公共料金の契約をすませた後にガス店がきて「契約は自分の店としなければならない。」と主張されたそうです。その店主の態度が傲慢なため他店と契約したい旨を話すとますます態度が悪くなり、施工費の話や負担金・大家に知られたら借用できない。等の話をされしづしづその店舗と契約したそうです。
	広報	・情報提供(冊子で)ありましたが、よく読んで(説明は特にありません)安全に使用することにしており、限りあるものとして無駄に使用することには気を付けております。(保温性器具を使用するなど)
	広報	・パンフレット等による情報提供のみ。
	広報	・若い世代小学校高学年から年輩者まで研修する場があればいいと思う。 日常便利であることのみ考えて使用してきているので！！
	広報	・LPガス業者からの情報より、やはり都市ガスからの情報が多いように感じます。販売事業者からの発信はメディアの使用が限定されると思いますので、エルピーガス振興センターが頑張って安全性を発信して下さい。

広報	・LPガスを通常使用していない個人の方々には、どんなにPRされてもあまり興味がないと思います。 夏の時期に屋外でのカセットコンロの使用時の危険性や注意点など、身近な事を通じてLPガスの良い点をアピールして下さい。
広報	・LPガスの安全性と料金の透明性についてもっと理解が進むと良いと思います。
広報	・太陽光発電とエネファームと2つの発電システムの普及など、環境に配慮しながらエネルギー消費の効率化を図る事は、今後さらに必要不可欠な事であると思います。 LPガス使用の利点をアピールする事と併せて、ぜひ普及に力を入れて進めていただきたいと思います。
広報	・今年度のリーダー研修会で、演題「LPガスの日常の保安と災害時対応について」を 岩手県高圧ガス保安協会専務理事 佐藤氏に講話いただきました。 普段の講話に加え、当団体が希望した内容の資料を準備して講話して頂きました。会員からも「資料がとても見やすく、わかりやすく良かった。」と好評でした。ありがとうございます。
広報	・もう少し、個々の消費者に対し災害時等に当たりの利便性をPRすべきと思う。
広報	・当地で家庭用ガスコンロが使用不可になるほどの災害がなかったので知りませんでした。 PR不足とは言えませんが今後は是非知っておくべきと思います。
広報	・「東芝〇〇フェア」など事務所のある会館で開催されているのを見ただけで、ガス購入店からの催し物の案内は無い。 当事務所職員に聞いてみたら、年末やお中元に2枚小皿がカレンダーと一緒に届くそうです。カレンダーは、我が家にも届きますが店舗によって差がありますね。
広報	・テレビの力は大きいと思います。 普段から何気に目にしていたことを思い出すこともあると思います。
広報	・期待しています。目にふれることが少ない。
広報	・積極的であるとは言えない。
広報	・新聞等においてPRすべきと思う。
広報	・いずれにおいてもPR活動が望まれる。
広報	・過日の講話の中で知りました。学習会がいかに大事わかりました。
広報	・東日本大震災の時沿岸部では、炊き出しや暖をとるひとつの方法として、流れついたガスボンベを拾い集め活用したそうです。 長期で漁に出る漁師船には、ガスボンベが積まれており使用しているようで、船元の女性の機転で漁師に「今のボンベには、地震が来れば自動ロックされている。思いボンベを選んでくるように。」と依頼したそうです。 『地震が来れば自動ロック → 時代の仕組みを知っている 重いボンベ → ガスがたくさん入っている』
広報	・3ツ取り付けのコンロの1ツはセンサーコンロ？になっている。全部がセンサーになっていると安心と思う。 その他の商品については興味がないわけではありませんが、家族が少なく(2人)数年後空家になることを思うと興味がわかない。
広報	・センサーコンロはとても安全性にすぐれていると思います。ただ、本格的に調理をする方からは3口コンロがあれば、1つはセンサーがないコンロがあった方が使い勝手が良いという話を聞くことがあります。(あまりに反応が良すぎて、強火での調理がしにくいとの事です)
広報	・情報提供が積極的とは言えないが、ガスコンロの取替時期のタイミングに合わせ話題にし、説明して下さいましたので早速取替えました。(Siセンサーコンロ使用中)
広報	・現在のところ、エコジョーズやガス暖房商品等の利用(取替)は考えていません。
広報	・今使用している器具が壊れたり使えなくならない限り、余り興味を持たない。というより、消費税が上がり、今の生活維持で精いっぱいのため持てない。
広報	・営業のための商品情報提供はあります。
広報	・あまりよく知識がないせいか、興味もうすく、高価であるというイメージがあります。
広報	・工事が大変なのでは？
広報	・機器はより安全で便利になっていると思うが、さらに一層安全で使いやすい機器が求められると思う。
広報	・講習・研修の大切さを感じています。 親子料理教室などイベントの中に組み込まれていると楽しく学べますね。 売る気満々のイベントには、行きたくない気持ちの方が先になります。
広報	・期待しており、団体としても出前イベントなど、お世話になってます。 もっと多くの地区にすすめたいと考えてます。
広報	・店名が書かれている車を運転するときは、周りに特に気を付けた方が良いと思いました。お店や会社の看板を背負っていること。消費者は、その運転次第で気持ちが変わります。
災害対応	・カセットコンロについては防災用品としては考えたことはありませんでしたが20数年前より常備しておりました。 災害時のガス供給停止の防災用品として便利であることを再認識しました。
災害対応	・「いざ」という時に、活用方法を思い出せるようならば十分と言えるでしょう・・・その点からすれば、まだまだのように思います。
災害対応	・S55年大雪で一昼夜停電の際はガス炊飯器(ストーブも)取り付けであり食生活には全く不便を感じませんでした。(照明とお年寄りの暖房は工夫しましたが)
災害対応	・はじめて耳にするものです。 3.11東日本大震災においては被害は少なく、むしろ市ぐるみで被災者を受け入れましたが、これからはどこかでいつ何が起きるか、わからない不安はあると思う。知っておいたほうが良いと思います。
災害対応	・勉強します。
災害対応	・我が家はLPガスの他に電気も灯油も使用しております。 震災時には停電なることが多い。3.11の震災時にオール電化家庭の友だちは大変パニックしていましたがLPガスでお手伝いが出来ました。大変喜ばれ、感謝されました。 LPガスの便利さが身にしみました。
災害対応	・知りませんでした。
災害対応	・災害時はほとんど停電となります。 震災等大災害時の事を考えると、地域内に1基程度は是非ほしいと思います。特に避難者たちは大変助かると思う。
災害対応	・安全・安心は、最ものぞむところですが、他のエネルギー、電気などと比較した場合不安もあります。災害時に使える利点はありがたいとおもいます。
災害対応	・災害時は、他のエネルギーとくらべ最も普及なども早く、期待が大きくなると思う。
流通	・LPガスは大事なエネルギーです。 販売事業者の方々にこれからもがんばっていただきたいと思います。

東北	流通	・情報提供、コミュニケーションは、ほとんどない。 LPガス事業者は、ガス器具等の販売店であることから、器具等を買う必要もなく、コミュニケーションはとれていない。料金は振り込みということで、ますます会う機会もなく、事業者との信頼向上をのぞんでいるところ。
	流通	・個々の消費者に対しては十分なされているとは言えない。
	流通	・安全性の確保を図ることはもちろんのこと、個々の消費者に対しより一層の情報提供等が望まれる。 また、超高齢化社会を迎えての適切な対応が望まれる。
	流通	・いずれにおいても、消費者の関心の度合いがどうかと思う。
	流通	・世帯を持つ前から同じ販売事業者との付き合い(約62年間)ですのでコミュニケーションはとれている。
	流通	・仕事柄、LPガス等の情報を得る機会が個人的に多いので、とても信頼し安心してはいますが、一般の消費者の方々にも同じように思っただけという思いもします。
	流通	・我が家のLPガス取扱販売業者は地区内の燃料販売店であることから販売店の御家族や従業員さんたちも全員顔見知りの方々です。 毎月の使用量検針時に行う保安点検やガス補充時等も必ず声掛けがあり、いつでも気軽に相談可能状態です。 全面的に信頼しております。
	流通	・特にありません。 信頼性が高く、安心しております。
	流通	・LPガス関係のみならず、消費者個々の需要と供給のタイミングが合わないといふような広報活動も伝わり方が薄いと思う。しかし、販売業者が地域内の販売店等であることは消費者と密接していることで信頼性が強く安心して聴くことができる。
	流通	・販売店からのこぼれ話として 一人暮らしや老人世帯の家族からは他店取扱いガス器具でありながらも時間外で連絡が取れないからと無理を承知で頼まれることも有るといふ。 出掛けて見ると些細な事や本人の勘違いであることが多かったとのことでした。(当然、取扱い業者への伝達済みとのこと)
	流通	・東日本大震災の時、避難所での炊き出しにLPガスを使用しました。いつでもどこでも使用可能を体験しました。 また、悲しい場面での体験だけではなく、キャンプや野外活動時の楽しいひとときにも使用しています。元栓をしっかり締めれば安全に火の始末ができ、どこにでも持ち運びができる手軽さがいいですね。
	流通	・事業者との直接的なコミュニケーションの機会はほとんどないが、毎月の検針等により、ガスボンベ等の安全性は確保されているものと考えている。
	流通	・安全性は確保されているものと考えているが、今後の超高齢化社会に伴ってなお一層の消費者への情報提供やコミュニケーションが求められるものと思う。
	北関東	価格
契約		2008年(平成20年)の改正で「再勧誘の禁止」等が入りましたが、消費生活センターに寄せられる相談苦情件数は減っていません。訪問販売については2008年99,580件が2013年には90,529件へ、電話勧誘販売については2008年49,273件から2013年には101,945件と倍増しています(国民生活センターPIO-NET情報)。 また、アンケート調査結果では、消費者が「必要ない・来てほしくない」と答えた比率が、2015年2月の「消費者契約に関する意識調査(全国消団連)」では訪問及び電話勧誘で96.3%、また、2015年3月の「消費者の訪問勧誘・電話勧誘・FAX勧誘に関する意識調査(消費者庁)」では訪問販売96.2%、電話勧誘販売96.4%となっています。消費者は不招請勧誘(=突然、訪問されたり、電話がかかってくることを望んでいません)。 そこで今回の法改正に「事前拒否者への勧誘禁止」制度の実現を目指しています。 テレビ・ラジオ・新聞など、広報誌・インターネットなど、講習研修・出前イベント・ガスフェアなどでも広報活動を積極的に起こない、個別の説明などは直接希望する消費者へ行っていくようにして下さい。
広報		・8月8日の土曜日に茨城県(行方地方LPガス保安センター)より最新型のガスコンロを寄贈していただけることとなり、嬉しく又、楽しみにしています。親子ふれあい料理教室を通して、実践の中から安全なそして便利な機能を体験して行きます。
広報		・オール電化システムの対応としてLPガスの役割の重要性をもっとPRしていく。
広報		・販売店だけの情報提供では説明不足です。
広報		・最新型のガスコンロを使用できるのを楽しみにしていますと共に、安全なそして便利で使いやすいと言うことでわくわくした気持ちでその日を待っています。
広報		・消費者の活字ばなれに不安な部分を感じられます。がPRは必要だと思っています。
広報		・必要だと思っています。
広報		・体験型のイベントは即実感出来るので良いと思います。
広報		・消費者一人一人に災害時にLPガスが大事な役割を持っていることへのPR活動をして、しっかりとLPガスの重要性が理解されていくようにする為にも必要です。あまり情報が少ないのは問題です。
広報		・インターネットも高齢者は出来る人ばかりではないと思うので、広報誌を使えば良いと思います。
広報		・テレビ・ラジオ・新聞等ともわかりやすく説明しているので、十分なPRになると思います。
広報		・時代と共に広報誌、インターネット等によるPR活動、素晴らしい活動になると思います。
広報		・PR活動。 いたる場面でPRは必要で期待します。
広報		・よくわかりません
広報		・分散型エネルギーとして災害時に強いこと、また、軒下在庫の強み、具体的に役立った事例など、もっと積極的にアピールしていかないと良いと思います。
広報		・近年、オール電化の建築が増えていますが中越震災を経験した地域ですので、対応として非常用にストーブ、LPガスを考慮されている人もおられます。 しかし、まだPRが必要と思われる。
広報	・個人的にはLPガスお客様相談委員をしておりますので知っておりますが、知らない人が多いです。 PR必要。	
広報	・エネファームについて関心を持っています。	
広報	・理解促進が重要だと思っています。	
広報	・あまり積極的とは思われません。 業界団体で取り組みが必要だと思います。	
広報	・毎年参加させていただき、国の情報や各県の取り組み等大変参考になっています。	

北 関 東	広報	・実際に講習会等に参加して勉強させて頂ければ現実の時に役立てると思います。	
	災害対応	・日頃何もない時には、業者とか自治体はあまり説明不足な面が往々にしてありますが、実際に災害が起きると、あわててしまう。やはり普段からLPガスに対する災害時対応できるよう業者・自治体が十分準備し緊急事態にそなえる必要があると思います。	
	災害対応	・身近にあり、あたり前の生活の中から震災を体験し、大切さを実感しましたが、まだまだPRは大切だと思っています。	
	災害対応	・災害時対応は両方必要と思います。	
	流通	・最新型のガスコンロが使い、料理できる事。 料理のメニューを考え、参加下さる皆様に満足していただける様、努力し楽しみたいと思っています。	
	流通	・今の所、何もありません	
	流通	・災害時の対応性が充実することで、たとえば、家庭で分散型ポータブル性のエネルギーが準備するようになれば安心出来ます。	
	流通	・ガス消費機器の情報が一堂にされた展示場所を教えてくださいたいと思います。 パンフレットだけよりもっと身近に見ることがあればと感じます。	
	流通	・新しい情報を開示するイベントが地方でも受けられるようにお願いしたいと思っています。 特に女性が参加出来る場を利用してほしいと思います。 「防災意識を考える」をテーマにして是非各地域を対象にして消費者活動をやるように「次年度」の活動にしていきたいと考えています。	
	流通	・個人のお店なので今後の期待は何もないと思います。	
	流通	・情報提供は充実しているとは思われません。	
	流通	・最新型のガスコンロが使い、料理できる事。 料理のメニューを考え、参加下さる皆様に満足していただける様、努力し楽しみたいと思っています。	
	流通	・今のままで良いと思います。	
	流通	・最近はっきり情報提供があるので安心してます。	
	流通	・毎月の利用内容を見て確認していますので、料金改正についても理解出来ます。	
	流通	・毎月一度メーター調べの方が来所、今月は〇〇〇円です。どうもありがとうございました。他の言葉はございません。	
	流通	・集金の方がお店からのまわってくるので、余分なお話は致しません。	
	流通	・お店からの説明、情報提供は特にありません。	
	南 関 東	流通	・LPガス、時期的に交換に来て下さるのでほとんど会話がございません。 我が家では、ガス器具が古くなり取り替えようかと思っているので、販売事業者におあいしたらどんな器具が良いか相談したいと思っておりますが、なかなか言葉をかけてくださらないので自分判断で定めようと思っております。災害時に対応出来るのはLPガスが1番と考えております。 なかなかまとまらない回答で申し訳ございません。
		流通	・コミュニケーションはとれていると思う
流通		・大変便利させて頂いております。	
供給		・原子力発電事故後、新たなエネルギーの電源として期待したいので。	
その他		・家の中の暖房はガスです。大変便利です。	
その他		・部屋が短時間で暖まるので便利です。	
その他		・省エネと停電等、災害等に備え、対応したいので。	
その他		・Siセンサーコンロ、エコジョーズ、エコファームなど、安全性の向上やコージェネの導入など良いことと思います。	
価格		・各社が料金をわかりやすくして、選択の目安にできるような工夫が必要だと思います。	
価格		・料金体系 ガス会社の勧誘員は何社も来ますが、替えるつもりは無く信用している。	
価格		・各社。料金設定をして欲しい。	
価格		・請求書に(基本料金+従量料金)の内訳が記載されていない等、透明性に問題があることからLPガスの料金に不信感を持つ消費者がいます。 消費者側も問い合わせをするなりして疑問を解消する努力も必要ですが、販売店の丁寧な対応をお願いします。	
価格	・自由料金なのでわかりにくいと思う。		
価格	・もう少しわかりやすくしていただければと思う。		
価格	料金の説明をして欲しいと思います。料金表を渡すこと、HPで価格を公開して欲しいです。特に値上げするときに説明が必要だと思います。勝手に値上げしたという声は多いです。請求書の中に書かれてあるだけでは気が付きません。		
価格	・神奈川県のカナエルさんが価格HPで公開しています。		
価格	・料金は良心的かと考えて、不満はないが、何年かに1社で良いので展示・説明を聞く場が欲しい。都市ガスは、クッキングスクール等もたまにはあるようです。		
価格	・今の料金体系や情報提供、説明状況は不十分だところから継続的な改善を図ってください。今でも業者変更の営業の際に、営業の人間がきちんと説明できていない状況があります。携帯電話の買い替え時のトラブルのように、メリットとデメリットがきちんと説明できるようにお願いしたい。		
価格	・説明は良い。		
価格	・料金が業者によりバラツキがある。		
価格	・プロパンガス料金適正化協会などにより、相談窓口の整備はされてきてはいるように思われますが、そもそもLPガスは電気料金や都市ガスのような認可料金とは異なり、販売店がそれぞれ料金設定をしていることや、料金体系も異なります。私ごとで言えば、先日風呂釜の買い替えをしたら(それなりの価格でしたが)今後かなりの長期に渡って、LPガス料金を〇円下げると言われました。この金額も総額ではそれなりになります。嬉しい気持ちもありますが、その一方で料金の分りにくさを感じました		
価格	・都市ガスのほうが料金が少し安い。(実際使用してみても)		
価格	・蛇足ですが、価格の競争はいいのですが、消費者を欺くような低価格で勧誘し、いつの間にか前の業者より高くなっていったというようなやり方は印象が悪いと思います。しつこい勧誘もイメージが悪くなります。		
保安	・安全・安心・便利については心配していない。快適については(安全も含まれるが)リフォーム等考えない時は快適な商品等気が付かない。情報不足か?		
保安	・現在は問題なく使っていますが、裸火を使いますので、安全・安心を考えた時に認知症の家族が出たときなど少し気がかりです。		
保安	・災害時の安全が心配。(ボンベの安定性)		
保安	・容器がむき出しなのが気になります。何かスッキリしたカバーが商品化されると良いと思う。		
保安	・スイッチですぐ点火でき、消火できる。		
保安	・ガスもれ点検時など見てもらう。		
保安	・LPガスには漠然とした怖さがあります。払拭されるように保安体制の充実をお願いいたします。		
保安	・排気ガスの心配が無。		

環境	・消費者フォーラム イン千葉ではエネルギーが主題でした。講演していただいた教授のお話しでは原発が無くてもまかなえる電力の事を伺いました。フォーラムにあたり、パネルの準備で、婦人会としては、省エネ商品・節電・ラインは短く、エネルギーも地産地消かというところに至りました。近年の異常気象もエネルギーを考える時に大切な事ですが、科学者の研究にCO2をできるだけ出さない機器を期待しております。教授が、LEDに相当する(ノーベル賞も考えられる)良いものが出来そうですと言われたと記憶しています。
広報	・新しい機器が安全であることをわかるように情報提供してください。
広報	・団体(加工所)で使用していたマルイガスさん、情報紙は楽しいものでした。最後まで気持ちよく対応していただきました。
広報	・LPガス販売事業者からの情報提供があると感じられません。
広報	・使用者の高齢化、環境問題の深刻化、迫り来る自然災害の脅威、エネルギーの効率的利用意識、世帯構成人数の減少、経済的負担能力の低下など、のくらしを巡る状況変化に対応して積極的に情報提供を受けて、消費者が賢い選択ができるようにして頂きたい。
広報	・情報はすばやくしています。
広報	・魅力的な料理教室を開催したりして、積極的だと思う。
広報	・高齢者は長年慣れ親しんだガスを愛していると思うのですが、危ないからとオール電化を選択し、使い勝手がわからず調理をしなくなるのではないのでしょうか。もっとガスの安全性をアピールして欲しいと思います。
広報	・PRは不足していると思います。
広報	・テレビは効果があると思います。
広報	・インターネットは期待できますが、見てもらえる工夫が難しいです。HPに書けばいいというものではありません。価格のランキングを業界団体で行うような思い切ったことが必要です。
広報	・イベントでのPRがいいと思います。やはり体験型がいいと思います。
広報	・高効率の新商品、補助金の事等はPRが必要。
広報	・昨年のこの場に出席して初めてその資料を拝見し、知識として受けました。PRが足りているかと言われれば、「不足している」につきます。
広報	・テレビ、ラジオ、新聞等の媒体はかかる経費の割に、効果は薄いと思われます。
広報	・期待はあります。メール発信でいいのですが、定期的に(年4回程度でも)情報を生協や消費者団体に情報発信することはできないでしょうか。
広報	・少し手間ですが、地域に近いところでPRする方が、双方向のコミュニケーションとなって、効果があると思います。
広報	・PR不足を強く思う。
広報	・各地で頻りに災害が発生している昨今、災害時のLPガスの供給に期待が高まっています。各団体と連携してPRを行ってほしいと思います。
広報	・インターネットでのPRは、使用しない人には伝わらないので、高齢者には見守りを兼ねて広報誌の配布も効果が期待できます。
広報	・テレビ、ラジオ、新聞等の媒体によるPR活動は軽快な音楽で耳に残っています。
広報	・広報誌は時々目にしますが、インターネットでは目にとまったことはありません。
広報	・災害時にLPガスが役に立つという情報は知られてきていると思うのですが、日常使用していないと間に合わないということをもっと伝えなくてはならないと思います。エネルギーの自立がいざという時に命を救うことを伝え、少なくとも学校や公共施設での使用を推進して欲しいと思います。消費者が訴えていかなければならないと思います。
広報	・震災で被災地で、天然ガスの地域の方は、ボンベがあつて良かったと実感しておりました。PRは平素目にしておりません。
広報	・昨年、災害時対応の大きな釜・鍋を見せていただきました。各市町で催されるイベント等でPRする、実際に使用してみるをせずに災害時につかえるものにはならないと考えます。
広報	・もっと積極的にして欲しいです。事業者からの説明がなければSiセンサーコンロ等の機器についてわかりません。テレビ等のCMが少ないので。
広報	・我が家ではSiセンサーコンロもエコジョーズも使用しています。暖房もガスです。ガスコンロにタイマーがついてることも自動炊飯装置があることも知らなければ興味を持ってないと思います。
広報	・Siセンサーコンロ…もっとはやく知りたかった。安全・安心以外に熱効率も重視してつくられたのでしょうか？と感じ快適です。
広報	・全くありません。販売事業者は、JA成田市ですが、もしあまり積極的すぎても困るかもしれません。
広報	・年2回の展示会の通知があり、配布されたチラシでガス器具の進化を確認しています。
広報	・認知度が低いのでガス利用の製品には興味があっても遠い存在ではないかと思えます。
広報	・使用していない人をショールームや講習会等にお誘いし、LPガスのメリットを理解していただくことも必要です。ガスフェア等の催しをスマートに開催してほしい。
広報	・ガスフェアなど、ちょっと行きづらい気がします。
災害対応	・バルクシステムはこれからの災害には必需品として準備してほしい。
災害対応	・災害時、ガスの炎を見ることが安心感を生み、不安に落ちつづされる気持ちを元気づけてくれたことが分かってきました。そこに期待しています。
災害対応	・災害時に大いに期待します。
流通	・振興センター等からの働きかけで、変わると思いたい。私達の小さな声と、どう声に出してみようか思案中。
流通	・消費生活相談で受けた高齢者の相談で、LPガス事業者さんに立ち会ってもらい協力していただいたことがあると聞いています。(お風呂が壊れたときに呼んだ水のトラブル解決事業者とのトラブルです)
流通	・これからの超高齢化社会で、消費者の生活を見守って行くという気概で、社会の安全貢献して欲しいと思います。
流通	・窓口がしっかりしています。
流通	・苦情として情報提供が不足しているようなものは見受けられないのですが、もっとコミュニケーションをとっていれば、苦情にならなかったのではないかとと思われることはあります。例えば、値上げについての説明がなかった、価格表を欲しいと言っても渡してくれない、ガスコンロは危険だからオール電化にしようと思うのですが。配達時に声をかけないという話も出てきます。
流通	・高齢者世帯が増える中で、配達時の声掛けなど、心配りができる信頼関係の構築が期待されます。電気屋さんなどが、乾電池1本、電球1個から届けて困ったことを助けてくれるサービスと同じように御用聞きの関係に立ち戻っていただきたいと思っています。
流通	・消費者とのコミュニケーションを大切にして、見守りネットワークの役割を果たしていただきたいと思っています。
流通	・自宅…接点ほとんど無。1ヶ月単位の使用料も集中管理らしい。
流通	他…加工所として10年程取り引きのあったガス会社は、とても楽しい、生活の知恵等々がいっぱい情報紙が、ガス使用料のお知らせと共にポストに入れてありました。情報満載でした。
流通	・販売業者とのコミュニケーションが良くとれています。

	流通	・長期間ガスを供給していただいているので、他の販売店と比較することもなく、ガス販売事業者とのお付き合いはマンネリ化しています。 マンネリ化により、コミュニケーションは不足していますが保障サービスは頼みやすい環境と言えます。
	流通	・窓口がわかりやすい。
	供給	・周期的に来てくれるのでガス切れがなく良い。
	供給	・昔にくらべてガス切れもなく、ガスもれもない。
	その他	・エコファームにとっても興味あります。しかしエコジョーズとはどのようなもの？
	その他	・ガス機器等購入にあたって、消費者に近いのは工務店等であり、ガス事業者ではありません。
	その他	・ガス暖房は、とても便利だと思う。
	その他	・使用者の高齢化、環境問題の深刻化、迫り来る自然災害の脅威、エネルギーの効率的利用意識、世帯構成人数の減少、経済的負担能力の低下などの暮らしを巡る状況の大きな変化を感じ、興味があります。
	その他	・現状維持でまんぞく。
中部	価格	・LPガスは自由料金となっているが複雑である。 水道・電気のようになれば、LPガスが減っている要因が解消できると思う。
	価格	・自由料金ではなく、消費者がOKできる料金を考えてほしい。
	価格	・いつもの通りのことですが、適正料金はわかりません。 情報提供や説明状況等はありません。今後もないと思います。
	広報	・地域に於て地元業者が年2回程度展示説明会等開催して消費者への情報提供を実施している。
	広報	・安全、安心、便利、快適と言っていますが、消費者は理解していないと思います。
	広報	・今後災害等を考えて、地域的にしっかりとLPガスの必要性を業者は消費者にもっとアピールすべき。時代の流れにもっと真剣に取り組む必要がある。
	広報	・PRして下さい。
	広報	・PRして下さい。
	広報	・福島原発事故以降降下火になったが、火を使わないから安全だから高齢所になったらオール電化にと思っている人が多いと思う。オール電化のPRは頻繁にある。それに比べてLPガスのPRは少ない。宣伝の効果は大きいと思います。
	広報	・若い人はインターネットから得る知識が多いと思います。これからの人にLPガスの良さを知ってもらう為にも積極的に取り組んで下さい。
	広報	・いろいろな電力に比べてよい点もたくさんありますが、すべてPR不足です。電力に負けてしまいます。
	広報	・折角、お金を使ってやるのですから、LPガスを使いたくなるようなPRをしてほしい。
	広報	・人々が心を動かすPR活動にしてほしい。
	広報	・まだ実態が理解できていません。今後PRの時をお願い致します。
	広報	・最近地域規模で発生している環境の変化にエネルギー問題への影響、安全供給への不安等一層レベルの高い災害対策等について説明をお願い致します。
	広報	・どこにあるのか。住民にも知ってもらうことが重要です。
	広報	・電化のPRは活発だが、LPガスのPRは不足です。災害の目立つ今こそ大々的にPRして下さい。
	広報	・まったくPR不足としか言い様がありません。 災害時は役立ったと一時的に言っていますが、時間が過ぎれば忘れていきます。常にPRをしていなければならないと思います。
	広報	・聞いてはおりますが、実際には頭には入っておりません。
	広報	・実際に現物を見て知ってもらうのが一番ですが、その場所へ行っていく工夫が必要ですね。
	広報	・PRして下さい。
	広報	・講習会や研修会では議論をして、電力とLPガスについてよい点悪い点等いろいろと出し合ってはどうか。
	災害対応	・勉強会で知りました。災害時に対応できる設備として、自治体や各団体に連携を働きかけて下さい。
	流通	・現状では電力への依存が多いです。
	流通	・LPガスは自由料金だと知らない人はまだかなり多いと思います。説明不足です。 LPガスの販売業者は顔見知りです。いろいろと用事も頼めるし融通も利かせてくれて、たすかります。こんな点等を利用してもっと積極的に推進をすればよいと思います。 伸びる点はいっぱいあり、電力には負けたいと思います。
	流通	・ハウスメーカーの施工住宅はだいたいIHが取り付けられています。LPガスももっと施工業者にPRしてはどうですか。
	流通	・暖房用の器具をより安全で便利に使用できるように研究・開発して頂けるのを待っています。
	流通	・以前は高齢者になったら、安全・安心を考えるとLPガスの方が好きだけれどオール電化にする方が良いかなどの思いがありました。しかし現在ではSiセンサーコンロやマイコンメーターで集中監視されているし、これからもずっとLPガスでいけるのでうれしいです。
	流通	・事業者からのお買上明細書のハガキでの宣伝やチラシを持ったの訪問等の情報提供はあります。
	流通	・数日後に必要な5kgボンベが充填期限が切れていて充填できなかった時、替わりのボンベを貸してもらったり、その時のこちらの要望にすぐ対応してくれる。お客様目線で対応してくれるのが嬉しい。
流通	・興味はあります。もしも、取り付けしたら10年は使用します。今まで業者からは興味を引く説明はない為、わかりません。	
流通	・最も充実した信頼関係が確立されています。	
流通	・事業者との信頼が構築されているので期待通りです。	
流通	・現状の継続です。	
流通	・毎月ガスボンベ交換の方に会うのみ。 使用料等は自動で計算され、自動で銀行から落ちる。	
流通	・顔をみることがない。ボンベ交換のお兄さんと会うのみで、自動計量、自動銀行落しです。 知らない人が多い。PR不足をみます。	
流通	・現代は日中留守の家も多く、事業者の方も訪問が難しいと思います。私の家では30年の信頼があるので必要に応じてこちらからの問いかけに親切に対応していただけるので満足しています。	
流通	・これまでは近所の業者さんで顔見知りの感覚でおつきあいをしていた、それがあたりまえでしたが、世代交代が進む時代にあって今までみたいな関係ではいなくなり、すべてが事務的な扱いになってくる。	
流通	・まったく業者からの情報提供はありません。こちらから聞けばありますが、聞かなければありません。 よい商品は沢山ありますが、業者はもっとアピールする必要がある。	
流通	・機具の安全性は、器具が進化して安全性が高くなり日常の使用時には不安が少なくなっていると思います。反面、簡単な疑問点やよりより使用方法例などを知ることも少なくなっているようです。これは提案ですが、やはり何か月に一度でも納入業者の方とFace to Faceでお話できる機会があればいろいろな疑問点を教えて頂けることができるのではないのでしょうか。高齢者の方が増加する中で見守りの一助になれば良いと思います。	
流通	・安全安心です。	
その他	・私は安全で臭わない、熱効率も高く、好きです。	

	その他	・今年台所をリフォームする時、Siセンサーコンロ、エコジョーズを取り入れたいと考えています。
	その他	・近々台所をリフォームする予定だが、主人は「うちは高齢者でオール電化にするんやろ」と言う。安全安心と言うとオール電化と思っているという事は電化のPRが上手であるという事。「LPガスも安全安心な機器や装置が出来たからずうっとLPガスのままよ」そして、これからの高齢化社会に向けて、より一層安全安心な商品の開発をして下さい。
	価格	・説明を受けている。大体は理解出来ている。
	価格	・ガスは公共料金であるという前提が、考える地域内での統一価格が当然のように思われがちなのは避け難いかもしれ
	価格	・次第に教育がなされてきたが、十分とはいえない地域における事業者の一部で高齢化や魅力あるエネルギーとしての自信、将来展望がないため従前通りのところもあり残念である。
	価格	・家庭では満足している。が、村中で炊き出しとかに使うLPガスの使用料金の算出はどのようにして決められているのか判らない。
	価格	・自由化の説明体制(事業者への教育)がよりいっそう求められます。
	価格	・町内LPガス販売店は2・3軒在ります。あまり関心はないのですが多少料金差はあるようです。しかし料金を計る使用量メータ等の取扱い変更が面倒な様ですので、同店で平穩に継続しています。
	価格	・新聞の情報によると、LPガスの価格が下がっても良い状況であっても個々の価格に反映されていない。消費者団体の人達への聞き取りによると最近の50代位迄の主婦は、都市ガスや電気にかえている。60代以上の主に1人暮らしが、従来通りプロパンガスを使用している。量的にあまり使わないのと変更が面倒だからと、昔からの付き合いだから断れないというのと、煮炊きだけプロパン使用、お風呂は都市ガス、暖房は灯油というパターンが多い。又、オール電化だが、玄関から風呂場まで距離があり、お風呂だけ工事費の関係からプロパンにしているという家庭もあった。都市ガスの方が安いという意見が多かった。
	価格	・消費者の会員から電気代が値上がりすると同じ様にガス代も上り、当然ですが都市ガスと違い高いので困ると言う苦情がありました。
	保安	・安全に使用する様、心掛けています。
	保安	・50年以上便利用しています。安全安心便利に利用して異状を感じた事はありません。
	環境	・LPガスによって、環境面を含むリスクが低いエネルギー供給に期待する。
近畿	広報	・福井市では「市政広報FUKUI」を毎月1回各戸配布されている。情報満載でありよく読まれている。その中に「G・Cook料理教室」「ベジフル講座」西武福井店前U-Canビル1階G・Cook各月1回。又、ガスクッキングスタジオ(企業局1階)で「とろ火ちゃん料理教室」が行われ好評である。全て都市ガス利用促進のための市の行事で非常に好評である。しかし、LPガスの「料理教室」については、こういった広報による料理教室はない。もう少し市民に目を向けた活動をしてはどうか。都市ガスに変えた市民が増えているので、難しいかもしれないが、広報活動にひと工夫もふた工夫も必要だと感じている。
	広報	・私は県内のLPガス協会のお客さま相談員になっておりますので、委員会が開催された時は、色々情報を頂いており、それを自分の消費者団体に報告し、LPガスの意識啓発に努めています。今年度は、2月19日開催以後は今期開催されていないので、どういう相談事例があり、どう協会として対処されたかは判りません。
	広報	・ボンベに対する不安は少なからず、どなたでもお持ちなのではないかと思えます。刃物と同じで、存在が危険なのではなく、扱い方が大切なのだという理解が求められると思えます。利便性については、災害時に感じています。
	広報	・PR不足。
	広報	・都市ガスとの違いをもっとすべきである。
	広報	・インターネットを利用し、モニター制も効果が得られると思う。
	広報	・巨額を投じて都市ガス企業と同様のことをしてもムダが多いと思えます。もし、そのようなメディアを使う場合は、広範囲の統一的なものではなく、地域に密着した小規模な媒体も上手に利用すれば良いと思えます。
	広報	・LPガス利用世帯の特徴を把握しておられるか？ということ。例えば、都市ガス利用世帯に比べて平均年齢が高いとか、地方になるほど地元自治体の広報誌の読了率が高い(であろう)とか。という特徴を考慮しながら、効率の良いPRをできるように期待します。
	広報	・CM費用が価格に追加されない様、望みます。
	広報	・お願いしたいです。
	広報	・インターネットにPRで活用してほしい。
	広報	・時代の波にうまく乗らなくてはなりません。判らないからではなく何事にも挑戦すべきです。PR活動よろしく願います。
	広報	・すべての活動大賛成です。地域を活性化さす一考にもなれば・・・と期待致します。
	広報	・期待します。しかしPR活動には費用もかかることだし、ガス使用代の値上がりりが心配になりますが、如何でしょうか。
	広報	・期待します。しかしPR活動には費用もかかることだし、ガス使用代の値上がりりが心配になりますが、如何でしょうか。
広報	・不足しています。	
広報	・聞いた事はあります。	
広報	・PR不足であるとの声もあるようですが、都市ガス企業と同様のことはできませんし、エネルギー基本計画にもありますように、「インフラと呼び得る」組織全体への営業活動に重点を置いて理解を深めていくのが急務に思えます。	
広報	・PR不足だと思う。災害時に役立つ事は衆知だが、働きかけもなく、どこで申しこめばいいのか、という問い合わせもある。努力不足を感じている。	
広報	・知っている。地域住民の一部では、すでに利用していると聞く。しかし災害用に利用したくても価格が高いため、断念したと聞く。	
広報	・不足と思えます。最近では色々な災害が多く、前にくらべて環境のせい大きい災害が多いので、テレビでも新聞にでも報道するのいいと思えます。	
広報	・二年程前に大阪ガスの施設で見学したことがあります。	
広報	・私の地域では全てPR不足です。今初めて知りました。	
広報	・全く知りません。	
広報	遅まきながらしっかりと勉強させていただきますと共に地域の安全対策にもっと力を入れなくてはならない事に気がまし	
広報	・電化に比べLPガスのPR活動が少ない。災害対応などに役立つことを知ってもらうために、PR必要と思えます。	

近畿

広報	・消費者団体から、事業者にLPガス用商品についての勉強会をお願いしたが、一回ではなかなか理解できない。 高額の商品なので、再度学習会を持ち、理解を深めたい。 LPガス販売事業者からの呼びかけによる情報提供はない。
広報	・センサーコンロ、エコジョーズ、エネファーム、ガス暖房商品等への興味は大いにあるので、商品の説明や、価格等くわしく聞きたいという人が多かった。
広報	・良い商品が出ている割合、あまり積極的な働きはみうけられない。 現在、利用している電気・都市ガス事業の家庭の人々にも情報を提供してもいいのではないかと。
広報	・興味は多いにある。展示会や、リース、試用テストなど出来ればいいと思う。
広報	・田舎です。情報が少なく全く知りません。
広報	・購入したいけど電気製品にくらべて高いと思う。
広報	・現代何の不満もなく快適に過ごしている。唯LPガスよりも器具に不満ある。
広報	・その都度情報提供していただいているが、使用している人間が旧態依然の古い仕来りの中で生活しているので進化した機器にはあまり興味ない。
広報	・興味なし 暖房器具は我が家ではホームコタツと練炭火鉢のみ。
広報	・ガスコンロから鍋釜おろせばすぐ火が消える器具があれば欲しい。 何故・・・90才の夫は時々ガスの火を消さず鍋をおろす。炊事場がなんとなくあたたかい・・・気がつくとガスの蛍火がついてる。(おはずかしいです)
広報	・期待は大いに持っていますと共に、各地域の防災活動にはもっともっと真摯な取り組みが必要であると思います。特に様々なガス器具等々の普及についても勉強すべきだと思います。何分高齢者ばかりになる地域社会の改善の一つでもあるように思います。
広報	・例えば、2014年8月に京都府亀岡市で開催したようなフェアが、各地を巡回するかたちで行えばと思いますが、予算的にも頻繁には、難しいでしょう。長期的な計画を、府県単位ではなく、近畿というエリア内で立てられたら良いと思います。
広報	・積極的にとりくむ方がいいと思う。
広報	広報誌の場合、むつかしく、理解しにくいものが多い。子ども向きの資料も必要だ。 エネルギー教育を学校や地域社会でやってほしい。
広報	・効果があると思うものは、積極的にやってほしい。
広報	・定期的な情報交流 ・有線ラジオでゲスト出演 ・八尾市自治体との防災協定 H27. 8/5 毎年消費者大会で消費者への展示による情報提供。 同日、アトラクションで、協会事務局・専務が衣生活改善のファッション・ショーに行政の皆様と一緒にモデル出演。アピールで、親しみを感じています。 ※LP事業者の貢献者表彰はあっても、積極的に協力する一般の評価がされないことは少し残念に思っています。
広報	・研修、講演をお願いしますが、その時にクッキング簡単なおやつ講習とかあれば参加者も多く成ります。H28年1月25日、26日、28日、29日の間でLPガスの学習会を予定したいのですが、丹波市まで来て頂けますか？
広報	・期待します。
広報	・住宅フェア等とコラボしてはどうか。【異業種】との交流も大切だと思う。
災害対応	・ライフラインが止まった時は、すぐ対応出来るのが良い。 火力が強いので、レストランや中華関係はLPガスを使っている。
災害対応	・「災害対応型LPガスバルク供給設備」について詳しく知りたい。
災害対応	・災害・事故等有事には、やはりLPガスである。電気に頼らなくても良い事は実感。
流通	・今期一度だけ、クリーンエネルギー「LPガス」家庭用周知文書というのが郵便受けに入っていたが、店からの説明はない。 しかし灯油時代から約60年のつきあいがる店舗であり、毎月集金に来てもらい、その時いろいろと質問したり、意見交換しているの、信頼関係は良いと思っている。 敦賀の団体から今年になって、冊子が入らず情報提供なしという事があった。 友人の団地全体を集中管理している会社は、ガス漏れ点検をさせて欲しいと各戸まわり、家の中の電気・ガスについて必要以上に使っていないか診断をして、使い方の指導してくれる。月初めのメーター点検時には、パンフレットを置いていく
流通	・LPガスが独立したエネルギーと位置づけられた事は評価する。それだけに組織の強化や指導が望まれる。 一部、家族で営業している店もあるだけに、力強い支援が必要ではないかと思う。
流通	・昭和37年結婚以来町内の個人LPガス販売店からの購入を続行しています。危険物取扱店許可者の店頭掲示板の記載された店主さんが亡くなられ10数年後も改名されないまま営業されていますが？
流通	・次世帯に引継ぐ年令に達していますので考えていません。
流通	・使用料(消費)を集金に来て下さる時だけの面談です。
流通	・利用者の主婦の誕生日プレゼントに生花鉢を以前は花屋さんが届けていたが、二年後から事業者の社員さんが届けてくれています。
流通	・消費と事業者との話合いの機会が必要。
流通	・全て普通(良)。情報提供一主にメール便。
流通	・消費者の高齢化に伴って、事業者による必要事項の説明責任を果たすのが、難しくなっているのではないかと、推察します。
流通	・定期的な学術者、行政、消費者団体等の会議で、苦情の内容や対策が十分にされている。
流通	・事業者・消費者、両者の行事を通して交流が活発に行われている。
流通	・くらしを支える重要なエネルギーである、又、緊急エネルギーとしての評価は、最近特に高い。 一家庭で、電気・ガス・LPを利用しようとする消費者も多くなりつつある。
流通	・時々チラシを配布して頂いていますが直接職員さんとの話しは出来てません。
流通	・すべてに対して「いい関係」で暮らしています。
流通	・田舎暮らしで、近隣とのコミュニケーションよい。
流通	・どうしても村内は高齢化になって来る。故にあまり難しい物よりも使い馴れたLPガスはみんなから喜ばれている。
流通	○ 容: ○○場所にガスボンベをお願いします。 事: 「ハイ」ありがとうございます。何をされるのですか？ コンロは？ 器具は？ ふたまた必要ですか？ 次から次へと我が事のように問いかけて下さいます。(いい関係)とはこの事でしょう。事業者と客とのコミュニケーション良く、つつい甘えてしまう私たち。少しは軌道修正しなくてはならない私たちです。

近畿

	流通	・一心同体の間柄。
	流通	・使用料金について 地方在住の私宅は軒下に10k~20kのボンベ型を設置しています。使用料メータも既定通り有りますが、何時ボンベが更新されたか？メータの検針は何時来てくれたか首沙汰がありません。電気料金、水道料金の様に規定された使用料領収書が発行統一されないのでしょうか。改善を望みます。
	供給	・田舎でも電気のように便利にしてほしい。
中国	価格	・説明はないですが。
	価格	・毎月の請求書はきますが、ポイントがついているところの紹介等がないので、今ひとつアピールが足りないかもしれません。
	価格	・LPガスの料金については、価格差があるということは余り知られていないようです。消費者が選択する基準になりますので、十分な説明をお願いします。
	価格	・ガスストーブのレンタルを受けている、快適でした。
	保安	願がわくは、料金のサービスがあれば・・・と思いますが。(時期的なものでもよいです)
	保安	・昔はガス切れになると連絡して交換でしたが、現在はボンベも大きくなり2本置きでもあるのでその心配もないので便利ですが、火災等あった場合の心配も強いです。
	保安	・声として:ガスの交換時、点検印がない。不安である。長期間留守にしていたが、点検をして頂いた。災害の時ボンベが倒れたり、ガスが漏れたりという不安があります。
	保安	定期的に検査をして下さり安心です。
	広報	・一番身近なテレビが大切です。小型ガスコンロの回収に大きく反映されました。
	広報	・インターネットは高齢者、女性客には未だ普及していないと思う。 テレビが身近です。
	広報	・テレビが目、耳に入りやすい。
	広報	・あまり利用しない。
	広報	・広報するのに、決め手はないのでしょうか。 あらゆる方法できめ細かく伝えることが大切です。伝え方も色々・・・。 視点を変えて、方法も工夫して、よりわかりやすい、納得できるものが効果があります。研究して頂きたいものです。
	広報	・公共施設でオール電化が取り入れられているが、防災にはLPガスが必要です。共有施設が必要となる様、広報されたら良いと思います。
	広報	・PRは必要です。水害、風害、天災のみでなく炊き出しはいつ起こるかわかりません。災害時にも利用出来る様に近くの公民館へのPRをお願いします。 (鳥取県での豪雪時は1000台の車輛が国道を封鎖しました)
	広報	・PRして下さい。
	広報	・公共施設でのオール電化を見られるが、ガスとの共同利用の推進は行われているか。 (安心、安全の期待にも書きました) 防災講習時には、特に必要性を重点的に広報して頂きたい。
	広報	・あまり知識がない。
	広報	・不足と思います。
	広報	・設備があることは知っていますが、どこにあるかはわかりません。
	広報	・オール電化が増えていますが、停電をすると全ての機器が使用できないこととなります。電気やガスの有難さがわかります。エネルギー源としてどうあるべきなのか、私達消費者はよく考えて選択すべきです。 メリットもデメリットもきちんと消費者に伝えて下さい。
	広報	・老人会、子供会、等の料理教室を期待しています。
	広報	・若者の料理講習会では、電子レンジの利用が多い、ガス業界での対応はありますか。
	広報	・近くである時は参加している。
	災害対応	・災害がより身近な所で起きています。防災の上では是非、検討して頂きたいと思います。設置を義務づけてもよいのではないのでしょうか。
		流通
	流通	・都市の会場より、地方の小さい団体でのイベントに参加して欲しいと思います。
	流通	・安心して続けられますよう。
	流通	・家の敷地内にプロパンガスがあるので、災害時に不安はあります。特に期待はありません。
	流通	・電化生活になっている今、LPガスとの両立は難しいと感じています。何かよい方法はあるのかと思います。
	流通	・より身近な事業者として、今後も地域を見守る役目も大きいと思われず。 コミュニケーションをしっかりととり、信頼関係を築いて頂けるように希望します。
中国	流通	・ガスボンベがより近い所にある為に、安全についての不安は当然あると思います。いざという時の為に十分な説明をお願いします。ボンベの交換時に、一声かけて頂けると安心ですね。
	流通	・1.PR不足でしょうか。十分に説明をお願いします。
	流通	・2.高齢者の一人暮らし、老化現象もあることでしょうか。火を取扱う上での事業者としての取組みを十分をお願いします。
	流通	・3.定期的に訪問する事業者として、十分なコミュニケーション、安否確認等も重ねてお願いします。
	流通	・販売店からの案内のみで良いニュースが聞けない(JA)灯油の例で安売りの時期、〇〇があるが、ガスはそうならないと思います。サービス(おまけ?)の時期があってもよいのではないかと。
	流通	・オール電化でも、ガス器具も必要だと思う。 日常二種のエネルギーの使い分けを広報されたい。
	流通	・良くやって頂いております。
	流通	・LPガスは身近なエネルギー又は災害に強いエネルギーとしてIHにかわられた人たちが又、元にもどりたいたなげいています。
	流通	・LPガスを使用して良かった安心安全で留守にしても心配ないと今後もこのままでいいと・・・。
	流通	・配達のための業者がほとんどと思われる。新しいニュースを届けられるのもサービスだと思うが。
	流通	・新聞でいろいろ情報等、教えてもらっています。
	流通	・配達の方からは何う事は有りませんが、色々な所でのPRは耳にしています。
	流通	・一人暮らしの家庭を訪問しLPガスについてのお話を聞いて参りました結果、販売事業者との関係はすこぶる良好と感じました。
	流通	・ガス充てん等の管理をして頂いていますが、コミュニケーション信頼という側面からは何ら関与はありません。
	流通	・声として:便利が良い。また電話で使用量、安全面の確認についても対応がよく満足しています。
流通	・イベント等(例えばガス展)での説明は受けますが、家庭を訪問しての情報提供はありません。PRを上手にすると大切でしょう。	

	流通	・声として、業務を変えようとしたら、配管や計器を買い取るように言われた。ポンベの切り換えを自分でしていたが、事業者がしてくれるようになったので安心です。
	その他	・少々有ります。
	その他	・既に数年たつので買い換えを考えてみたいが、ガスにするかどうか選択中です。
	その他	・省エネルギー、環境保全、温暖化防止等の視点でとても興味があります。
四国	価格	・料金について価格調査でも知らせてもらっても業者を代わることはできないので、事業者の指導を的確に協会等でしてほしい。他の店に相談しても聞いてもらえない。一戸建ての家の話が多いが、マンションのような集合住宅ではどうなのかの話がありではない。
	価格	・自由料金についての認識はほとんどないと思われます。間もなく電気も自由化になりますが、そこでの比較はガスにも多く影響するのでは。
	価格	・料金は、料金表をもらっていないので、請求通り払っている。
	価格	・メーターをチェックすることも、したことがないので請求通りにしている。
	価格	・我家は、ガス派なのだが、料金が安いのが難点。料金の説明も受ける事がないのでやはり説明してほしい。隣人とガス料金が違うのも疑問。
	価格	・料金が安くなること。
	価格	・娘が床暖房をしているが料金が安いので使えないという話を聞いた。
	保安	・LPガスのイメージが、爆発や臭い等、炎の量が火災につながる等、直接体感に繋がっているため、危険度が高く感じるようです。見えない電気の方が本当は危険なことなのですが、どこかで刷り込まれてしまったのでしょうか。しかしながら、料理でも火加減は目で確かめるためには、記憶に残るさじ加減ができても良いエネルギーです。体に感じる臭覚は一度感じると忘れないことは、自ら危険を感知できることなど、経験がパニックにならない。電気エネルギーはどこかで操作されないと自らの修復ができない、一つの遮断ですべてが利用できなくなるのはとても不安です。
	保安	・私はガスが好きです。火力も強いシャワーの勢いもあります。以前と比べて安全です。火の消し忘れや、お鍋の焦げ付きもないので心配する事はありません。災害の時も電気と違って役に立つのではないかと思います。
	保安	・今まで不具合を感じたことがないため、他のエネルギーと比べての期待を持ちづらい。
	保安	・その中で、安全・安心への期待はとても高く、さらに今後の精度の高さを期待したい。
	保安	・毎月、定期的に回って来てくれているようなので安心している。
	保安	・先日、家の中のゴムホースが古くなっていたので、自分で替えるのも不安でしたが、丁度初めてポンベの交換に来てくれたのに会って聞いてみたら、ゴムホースを取りに帰ってくれて交換してもらえた。何でも相談すべきだと思った。
	広報	・Siセンサーコンロに変わって、使いやすいし。安全で掃除しやすい。しかしながら、IH電気の商業情報は積極的に、施設で料理教室の開催やテレビの放映や教室を無料開放があり、そこで団体等の料理教室ができるのはとても広報活動に強みです。
	広報	・あまり良く理解していません。
	広報	・今、食生活のブームや地域ブランド等ドラマ化でブームが起きています。そんなドラマの中に取り込むなど、また、生活の知恵等の情報番組に取り上げることも良いのでは。
	広報	・ガス展やパンフレットはよく見ますが、直接聞く事はありません。
	広報	・月に一回広報誌が送られて来るくらいかな？ 内容は充実しているので、毎月楽しみに見せてもらっています。
	広報	・全くない。
	広報	・全くもって不足と感じる。
広報	・せっかくの優れたエネルギーなので、良さをもっとアピールすべき。	
広報	・ラジオ、新聞、特に新聞媒体でのPRは大切と考える。	
広報	・インターネットの時代だが、意外と一部の年齢層にしか届かないと考える。	
広報	・LPガスの強みをもっともっと情報としてながしてほしい。	
広報	・もちろん、これからの情報はインターネットでしょう。 小さなヒットが大きな反響になるので、どれだけうまく「つぶやく」かでしょう。	
広報	・農業法人等では今、生産者自ら「ノグザイル・・・」「元気な～」グループでそんな元気あるPR活動も。	
広報	・テレビで見ることがあるので興味はある。	
広報	・テレビはすぐ消えるので、何度もながすことが必要。	
広報	・参加者が集まりよい内容が必要。	
広報	・ガス機器もいろいろ便利になっているので大変興味はあります。	
広報	・テレビ・新聞等ではよくPRはできていると思われるが、内容をもっと詳しく知らせてほしい。	
四国	広報	・新築の家はほとんどと言っていい程、オール電化になっていますが、ガスのPRが足りないのではないのでしょうか？
	広報	・“動くエネルギー”、“自由度の高いエネルギー”、“環境に順応するエネルギー”など、世情に訴えていくべきと考える。
	広報	・新聞は紙媒体であり、文字や図表として後ほどまで残せるという利点を生かすべき。
	広報	・広報誌って、なかなかLPガスに興味を持たない方々へは届かないのでは。
	広報	・イベント、フォーラム、フェアへの参加は大切と考える。
	広報	・各市町村の広報誌に商業的目につく。全戸に配布されているから。特に災害対応は、お知らせが大事。
	広報	・よく分かりません。PR不足ではないのですか？
	広報	・料理の火力が目で見ることができるとは、数値化だけでなく体験から料理の伝承が記憶に残る伝え方ができ、すばらしい機材です。
	広報	・個人的にエコジョーズについてはまだ詳しく知識を得ていないが、環境に配慮したもので、経済的にも良いとのこと、これから床暖房に考えているので興味があります。
	広報	・興味はあるが、フェアがある時等でないとパンフレットもらっただけでは、よくわからないと思う。パンフレットをもらったことはない。使用している機器が古いので勉強してみます。
	広報	・以前と比べずいぶん安全性能なので、外出時等の心配がなくなったガラストップなので掃除が楽。 炎があるので、高齢者には心配。
	広報	・情報を知らないため、興味までつながらない。
	広報	・家に売り込みに来られても困るし、自分から足を運びます。
	広報	・PRは不足。聞いたことない。 先日LPガス講習会開催させてもらいました。その時に勉強しました。
	広報	・出前講座や料理講習をやってほしい。 ガス展は年何回もやっているのでもいろいろ勉強になります。
広報	・全くもって不十分である。	

	広報	・不十分と発言しながら、こちらにも気に留めてないところや供給側に求めているところに課題があると思う。
	広報	・異種分野への出展と出店も意外と普及啓発につながるのでは。
	広報	・テレビは持たないため、回答は避けたい。
	災害対応	・先月の災害報道の中で、ガスボンベが多く流れている様子がありました。軒下のボンベが流出したのと考えますが、もっともっと確かなPRと、災害時の後の説明をするべきではないでしょうか。 また、災害時の配送のためのライフラインの確保についても、広報すべきと考えます 災害時に、専門的知識のサポートを誰が担うのか、事業者だけに頼るのか、防災サポートの認証制度もあっても良いのでは。
	流通	・情報提供としては、年1回LPガスフェア開催のちらしが入ってくるだけ。
	流通	・販売事業者との接点は、まるでない。知らない間にボンベの交換に来ている。
	流通	・「LPガスお客様相談窓口」の存在は、もしかの対応に安心です。コミュニケーションでは、それを嫌がる消費者や面倒なことと考える消費者が多くなり、個別の対応は少なくなったように思えます。また、事業者も効率的事業になり、過去の地域のガス屋さんも少なくなり、センターからの配送が多くなり「声かけ」のコミュニケーションは、ほとんどないように思えます。
	流通	・長年取引しているので信頼している。
	流通	・検針に来られた声をかけていただき、新商品紹介とか、ガスの使いすぎ等について話して頂きたい。年回1~2回位しか、お顔を拝見することがない。(外出している事も多いので仕方がないのかな)
	流通	・他のエネルギーの配給も、信頼関係で十分なコミュニケーションは取れている。
	価格	・1. 料金体系・・・請求されるままでしたが、都市ガスよりも割高であることを今回知りました。
	価格	・料金体系は店によって違うようで不安。
	価格	・料金体系につきましては標準小売価格の設定がないためか、料金が安いのか高いのか、上がったのか下がったのか分かりづらいのが現状です。情報提供も説明も特にいただいております。
	価格	・消費者が自分で選択できるよう、価格体系を公表していただきたいです。
	価格	・自分の意思に関係なく、住宅地全体が同じ業者となっているので、特別、料金に対して比べることはなかった。今回知人に聞いてみたが不満はない。
	価格	・料金が店別々にわかるものがほしい。
	価格	・暖房商品には使用料が高いのでは？
	保安	・1. 安全・・・火災の心配、爆発事故が起きないこと。
	保安	・安全・安心については、ほとんど心配することはない(今はほとんど安全対策がなされている)。 ・機器も多様化し、すべて安全・安心・便利性をうたっているし、またそのように非常にバラエティーに富んだ製品が多くなっている。高齢者にはまことに便利になったが、用途によっての使用法、選択基準等、細かな説明が行われないと期待ハズレになる。余分な機能も独居の人には使いきれない場合もある。 安全性については、ずい分機器が向上し、大半は安全についての危惧はないと思われる。
	保安	・火の消し忘れ、空焚きが心配ですのでSiセンサーコンロの登場で安心感が得られました。 自宅の買い替えや実家のリフォーム時にも引き続きガスコンロが選択肢の一つとして残りました。 あとは、ガス漏れ警報器が正しく作動することを願います。
	保安	・台風で停電になると不便になるためオール電化に変えることは考えておりませんが、年老いた母が、これまで2回ほど空焚き(やかん)、フライパンの火を止めるのを忘れてしまい(お肉を焼いていました)、家じゅうが煙だらけになったことがあります。 忙しくいつもの家事を並行して行う主婦にとって、Siセンサーコンロは安心です。今度買い替えるときにはこれにしようと考えています。
	保安	・2. 安心・・・ガスもれなどの対応をきちんとしてくれること。
	保安	・料金よりも安心安全の方を重視されてほしい。 その上で料金を低価格になるよう企業努力される方を望む。
	契約	・「書面の交付、販売店は消費者の自由選択であること」を消費者に周知して、トラブルがないようになればいいと思います。
	契約	・不満はないようです。
	広報	・1. 情報提供・・・パンフレット、説明書の配布良好です。
	広報	・2. 情報提供・・・主に印刷物により、知ります。
	広報	・3. 説明状況・・・特に説明はありません。
	広報	・LPガス販売事業者から直接提案されることはありませんが、配布される情報紙には紹介記事が載っています。 ・配布される情報紙「ムティ」には、ガスの扱い方や料理・新商品・災害救援隊等、記事が満載されていて、契約世帯にはコミュニケーションがとれていると思います。 インターネットでは、情報のやり取りができるので安全対策や料理コーナーで消費者の関心を高めるといいでしょう。
	広報	・一般消費者には、ほとんど伝わっていないと思う。 料金体系は全くわからない。
	広報	・情報提供は積極的だと思います。
	広報	・自宅に関して、現在の販売事業者には、ほぼ満足している。
	広報	・大分県では消費者団体連絡協議会構成団体各代表が苦情相談所委員になっており、委員会開催時に寄せられた相談内容についてキメ細かな検証が行われ実に活発な意見交換が行われている。事業者側、消費者側それぞれの課題解決に向けて手法も議論され、風通しのよい情報提供により啓発に努めている。 最も多い相談内容は料金についてで消費者側では自由料金となっていることを理解していない人もいるので、もっとコミュニケーションをはかる必要も感じられる。
	広報	・料金体系についても少し情報提供すべきと思われる。特に高齢者は外食、子どもの所へ長期間寄留したりと留守や使用時間の短い場合、当然もっと安いのではと思ってしまう。基本料金を払うことに疑義をもつ人、理解不足の方が多い。情報提供不足と思われる。
	広報	・広報、料理教室、各団体宛、キャンペーン活動等により息ながく啓発に努めてほしい。
	広報	・相談所委員会、料理教室、イベント等で情報提供はしっかりやっているとされる。ただ戸別でのPRは少々不足していると思われる。日中留守の人が多く、新聞広告、各団体向けなどで提供していくことにより徐々に関心をもつてくると思われる。大分県では近日中に大きなイベントがくり広げられることになり県下一円よりの参加者も多く、楽しみながら知識を得られると思う。
	広報	・情報提供について、電気にくらべて説明・情報は少ないです。
	広報	・販売店からの情報提供はありません。 大きい販売店ならあると思いますが、年に何回あるかわかりません。
	広報	・情報誌は毎月提供がある。
	広報	・情報は、1ヶ月1回は広報誌により提供あり。

九州・沖縄

広報	・1ヶ月1回は必ず情報提供がある。
広報	・一般的には広報誌が一番と思うが、田舎の方で、ガスを使用する人は高齢者が多いのでインターネットと両方必要と思
広報	・特に情報提供があるわけではなく、積極性は感じません。
広報	・料理講習やガスまつりなど多く取り組まれているようですが、自社のホームページやショールームやお取引先様への配布と限られているようです。食育や伝統料理教室など、とてもいい取り組みをされておりますので、ぜひ多くの方の目に留まるような広報を期待します。
広報	・テレビ・ラジオ・新聞等では、ほとんどLPガスの広告や記事は目にしません。もっと、利点をアピールした方がいいと思います。
広報	・テレビ・新聞はほとんどの年齢層の人が見るので、PRの効果があると思う。
広報	・十分なPRがなされていると思う。
広報	・LPガスのPR画面を良く目にします。活動を期待しています。
広報	・テレビ広報誌等でLPガスのPR画面を良く見かけます。災害に強いエネルギーとして宣伝をしていますが、もっと宣伝してください。先日の大水害のときの対応は大変だったと思います。
広報	・自宅の業者さんは、新製品等のPRは積極的ではない。熊本県内・山鹿市内の業者のPR(テレビ)・新聞広告・チラシではされている。
広報	・一般的にはテレビが一番だと思う。仕事上テレビよりラジオ主流の方、新聞を見ない人も今多いのでPR活動方法も大変だと思う。
広報	・インターネットを使用しない方もまだまだ多いので大変だと思う。若い人は関心があり、ネット購入・情報もネット主流なので親に説明されている知人もいる。ネット上でのイベント紹介も、少し先のものをあげていただければ会場近くに外出の時寄ってみたいと思う。
広報	・熊本でも青年部ボランティア活動や2・8月献血活動等で社会貢献も多くされているが、皆さんにはまだまだその活動内容が知られていないと思う。女性団体・学校教育団体にもっと積極的に呼びかけられてもよいのではないだろうか。デパートでのガスフェアは立ち寄りやすく人が集まりよいと思う。
広報	・大分では新聞、テレビ各社への広告依頼を積極的に行っているし、切り抜いて張っておかれるようにしてほしいという要望に応じられました。テレビコマーシャルにも努められている。
広報	・消費者団体向けに情報提供していますので、各団体ではそのチラシを会員向けにPRしています。
広報	・PRが不足してます。
広報	・ラジオ・新聞より、テレビで紹介した方がわかりやすいと思います。
広報	・IHと比較する際に電磁波のことが話題になりますが、自主備蓄がメリットとしてPRされたことはありません。もっとPRしてもいいのではないのでしょうか。
広報	・もっと露出があったり、メリットをお知らせするような内容のPRがあってもいいかなと思います。「くらしの中でガスコンロがあって家族で食事を作っている」イメージのコマーシャルが流れていますが、Siセンサーコンロの機能や料理教室の案内にフォーカスした内容だと、ショールームにいらっしゃるお客様が増えたり、「こんなこともやっているんだ」という認知につながるのではと思います。
広報	・災害時に、調理ができる、入浴ができる、暖をとれるということは一番大切なことです。それは生死にかかわることだからです。災害時の新聞、テレビなどの報道により、LPガスの利点が知られるようになり、これが何よりのPRだと思います。
広報	・PR不足である。このことについて、話すこと、ほとんどの人が知らない。
広報	・災害時にすぐポンペを設置してもらえれば調理ができ役立つ実情が知られていないと思う。災害対策・防災訓練等で説明されるのも必要だと思う。
広報	・まだまだPR不足と思われる。最近のように大災害が発生すれば、もっともっと情報提供していくべきだと思います。災害時にはLPガスの存在がいかに大きい、また必要ではないかと積極的にPRしてほしい。
広報	・災害があった時はLPガスが役に立つ事は知っていますが、もう少し宣伝の方法を？
広報	・宮崎での講習(お客様窓口)でできた所、家を作る工務店さんとの意見交換をとの事です。私は、それはいいと思いました。家を新築する際、工務店さんはIH機能しか勧めません。新築する時に、ガス管も一緒に家の中を通したら、災害の時、停電になってIHが使用できなかつたらガスが使用できます。この事をもっと宣伝・PRに使用する事が必要と思いました。
広報	・PR不足と思う。
広報	・情報が少ないので、機器についてあまり知らない。
広報	・上記のイベント等が不足しているようです。西部ガスでは、積極的にお客を呼び込んでいるようです。LPガス販売店の個別では、行っていないようなので、団体が一丸となって、安全対策の講座やガス器具の体験講習が必要だと思います。
広報	・ガス燃料に関心のある人が参加していると思うので期待できると思う。
広報	・知っている。防災訓練の下準備勉強の時学んだ。
広報	・LPガス教室の開催により楽しみながら料理教室への参加を行っています。気軽に対応して頂いています。
広報	・研修・講習を受けた人は知っていますが、その外の人達は知らないと思います。
広報	・私達婦人会は、年に何回か講習をしていますが、出前イベントは未だした事はありませんので、その仕方等お知らせ下さい。
広報	・私達の団体にも講習、研修案内は来ています。何かもっと高齢者に対しての指導があったら、と思うが、どうしたら良いのか今度の会議で学習していきたい。
広報	・親子料理教室や手作りのおやつ作りなど、一緒に台所に立ちながら、ガスを使う昔ならではの調理法を子どもに伝えたり、先人の知恵を継承することによって命が受け継がれてきたことも伝えることができます。私たちの体は食べたもので作られます。食べること、調理することの大切さを伝えていくためにも、一緒になって取り組みたいです。
広報	・先日、伝統料理の講習会に参加した際に、これまでの長寿を支えてきた「食」と調理法を教えてくださいました。インスタントや冷凍食品が多く流通していますが、一緒に作ったり、一緒に食べたりなど「食」を取り巻く環境がよくなったように思えません。「食」にこだわった講演会や料理講習などに継続して取り組んでいただき、ありがたいです。ショールーム兼調理室には調理器具も最新のものがそろっているので、とてもいい取り組みをされていると思います。
広報	・3. 信頼構築・・・時々のガス点検対応旅行です。
災害対応	・LPガス講習会で知りました。また、市内の公民館で導入したという話も聞き、心強い味方だと思いました。
災害対応	・その他 東北大震災発生後のニュース映像で、津波に流されたボンペが爆発、炎上するのを見ました。災害に強いのはメリットの一つですが、災害時に流されない、もしくは火種にならないような仕組みにはなりませんでしょうか？

九州・沖縄	災害対応	・その他として、行政との災害時における連絡協調について協定を結び、共に災害についての対応を迅速に行われるよう活発な取り組みが行われるようになりました。市民にとりましては何よりも業界に対しての信頼度が高まったものと思います。
	災害対応	これらLPガス業界の熱心な取り組みが全体的に信頼度の指標となっています。このような方向についての業界の意見、
	災害対応	・災害時、都市ガスの配管が断ち切られると復旧に日数がかかりますが、LPガスはポンペを設置すればすぐに使用できるので、災害国日本には必要なエネルギーだと思いました。
	災害対応	・言葉は聞いているが、詳しい事がわからない。
	災害対応	・申し訳ありません、存じ上げませんでした。
	流通	・現在の状況では期待できないと思う。 以前はガス屋さんがよく訪問し交流があったが、以前の様な「つきあい」が戻れば期待できると思う。
	流通	・安心・安全の場合、いつでも来てくれる。
	流通	・2. コミュニケーションの充実・・・声かけ良好です。
	流通	・コミュニケーションが全くとれていない。使用量の伝票も入らない。数回電話をしたが、その時だけ入るだけである。安全点検の訪問の時に、不具合等質問をして見られている。
	流通	・私の地区ではうまくいっています。
	流通	・宮崎の地元の人達とは、うまくやっているとありますが、他県から、市外からきた人達とは(特に学生の親)話しが少しずれているようです。
	流通	・給油の時は必ず声かけをする。
	流通	・使用についてわからない所は電話するとすぐ来てくれる。
	流通	・普段のくらしの中で、十分な情報提供やコミュニケーションがとれていると実感することはありませんが、とどこおりなくガスを供給していただいていることで、保守や在庫点検、交換などがしっかり行われていると感じます。
	供給	・3. 便利・・・ガス切れがなく、いつでも使える状態であること。
	供給	・＜参考資料を読んでもわかったこと＞ 供給ルートがわかりました。シェールガス随伴LPガスの輸入のこと、エネルギー自由化で大競争が起こることなど、新たな情報を得ることが出来ました。
	その他	・Siセンサーコンロとエコジョーズは現在使用中。快適。エネファームの導入には150万円と高額な出費で、新築・改築の予定もないので考えていません。将来、省エネルギー社会で普及していくと思います。 ガス暖房商品は配管等を考えると面倒なのではないか、と消極的です。
	その他	・＜ガス器具について＞ 以前はガス風呂釜、週刊湯沸かし器は点火の際に火がつかなかったり、ポツと大きい音を立てたりして、毎回恐怖をおぼえていましたが、時代が変わり、給湯器で蛇口をひねれば湯がすぐに出るので、ありがたいです。ガスコンロのグリルが片側に着火せず不完全燃焼をしますが、買い換えるべきでしょうか。手入れ方法は？
	その他	・興味はあるが、料金を比較し考慮中である。
	その他	・情報で知る限りでは期待しています。
その他	・どこで使っても鍋が使用できる(IHの場合は不都合あり)。 だれでも利用でき戸惑われることがない。 屋外でも調理の場合等が特に便利。	
その他	・昨年比べて興味はある。 Siセンサーコンロを使用しているが、最初は使用に操作に戸惑ったこともあるが、タイマー・温度測定等便利。	
その他	・暖房商品は実に多様となり、特にストーブ・コンロは断熱LPガスの方が効率がよい。今後期待できると思われる。	
その他	・今のガス台は安心安全ですが、機能がよくうまく使いこなせない人がいるようです(年輩)。	
その他	・ガス暖房商品等のよさは知っていますが、実際には、みてないのでそれぞれの電気店にはガス台はあまりおいてなく商品が陳列してありません。	
その他	・4. 快適・・・火力が強いこと。	
その他	・＜消費者の生活の変化について＞ わが国世帯のLPガスは50%ほどであるが、都市化が進むと都市ガス設置が増えていくと思います。共働き世帯の増加で食の簡便化が好まれ、電子レンジで温めるだけの調理、あるいは手のかかる煮物は敬遠されガスの使用量にも影響が出ると思います。また、少人数(単身者・高齢者のみ)も使用量に差が出ると思います。	
九州・沖縄	その他	・LPガスは鍋を選ばないので、便利である。 炎で「あぶる」ことができる等、便利な利点がある。
	その他	・私の地区では、安全性を考え電化にしたいと思う方と販売店がいいので使いなれたLPガスで良いと意見がわかれています。
	その他	・自然エネルギー、クリーンエネルギー、再生エネルギー等に最近はエネルギー業界も実に多角的になりました。行政の対応、業界の今後の対応、シェールガスの利便性、供給体制・需要に対応する多くの選択肢が考えられると思いますが・・・。
	その他	・風呂等ガスを利用しているので今の所不足はない。 ただし料金が高価である。
	その他	・むずかしく考えていず、いま使用しているのが当然と考えている所がある(生活の一部になっている)。

注)質問事項の分類及び内容は出来るだけ質問者の意向を反映させていますが、同一発言の中に幾つかの内容がある場合は

それを1件として別に表示しています。

従って、質問数は質問内容の区分による件数を単純に集計したものです。

2) 分類別

分類	意見等
価格	・ハローガスのお店の人達とは、何でも気軽に話せるし、教えてくれる良好な関係ですが、我が町にはLPガスを取扱っているところが7つあるとのことですが、料金体系というのは各々違うのかなーという疑問があります。
価格	・道内におけるLPガス利用者は、150万世帯に至り、生活に欠かせないインフラとして、極めて公共性の高い商品ですが、現状は自由料金制となっています。
価格	・自由料金制は、業者の説明責任が十分果たされ、消費者の知る権利が満たされ、選択の自由が保障されている事が必要ですが、現状は基本料金と従量料の区分でさえ出来ていない業者が多く、業者選択の自由も集合住宅では不自由な状況となっています。
価格	・十分とは言えないケースがかなりあると思います。「料金の仕組みが分からない」、「単価を教えてくれない」、「料金が高い」などの苦情が多く聞かれます。
価格	・LPガス料金は、日常生活に必要なものとして公共性が高く、他方で、都市部を除くと販売事業者の数も限られており、互いに客を取り合わない慣行があるということも聞かれるなど、消費者が自由に選択できるとは言いがたい状況です。しかも、建物の購入時や賃借時にはすでに特定のLPガス販売事業者の供給設備が設置されている場合は、販売事業者を選択する自由がさらに制限されてしまうのが実際です。こうした実情に鑑みると、自由料金の下で競争によって適正な価格が形成されるとか、消費者に選択の自由があるとは必ずしも言いがたく、行政による何らかの介入が必要ではないかとも考えられます。
価格	・自由料金のため、逆に不安を感じる使用者の方が多いと思われませんが、料金体系の透明化の普及に力を入れておられると思います。
価格	・料金体系については、特に気にしていませんでした。「LPガス改定のお知らせ」や、LPガス器材、製品のパンフレット等は使用料金請求書とともに郵送されますが、その後の検針等で未訪の際に直接説明して下さい。
価格	・ガスもれ警報機は、いつ点検があるのか不安。使用期限なども。料金体系など知りたいと思うが、チャンスがない。
価格	・各社が料金をわかりやすくして、選択の目安にできるような工夫が必要と思います。
価格	・料金体系 ガス会社の勧誘員は何社も来ますが、替えるつもりは無く信用している。
価格	・各社。料金設定をして欲しい。
価格	・請求書に(基本料金+従量料金)の内訳が記載されていない等、透明性に問題があることからLPガスの料金に不信感を持つ消費者がいます。消費者側も問い合わせをするなりして疑問を解消する努力も必要ですが、販売店の丁寧な対応をお願いします。
価格	・自由料金なのでわかりにくいと思う。
価格	・もう少しわかりやすくしていただければと思う。
価格	・LPガスは自由料金となっているが複雑である。水道・電気のようになれば、LPガスが減っている要因が解消できると思う。
価格	・自由料金ではなく、消費者がOKできる料金を考えてほしい。
価格	・いつもの通りのことですが、適正料金はわかりません。情報提供や説明状況等はありません。今後もないと思います。
価格	・説明を受けている。大体は理解出来ている。
価格	・ガスは公共料金であるという前提が、考えると地域内での統一価格が当然のように思われがちなのは避け難いかもしれません。
価格	・次第に教育がなされてきたが、十分とはいえない地域における事業者の一部で高齢化や魅力あるエネルギーとしての自信、将来展望がないため従前通りのところもあり残念である。
価格	・家庭では満足している。が、村中で炊き出しとかに使うLPガスの使用料金の算出はどのようにして決められているのか判らない。
価格	・説明はないですが。
価格	・毎月の請求書はきますが、ポイントがついているところの紹介等がないので、今ひとつアピールが足りないかもしれません。
価格	・LPガスの料金については、価格差があるということは余り知られていないようです。消費者が選択する基準になりますので、十分な説明をお願いします。
価格	・料金について価格調査で知らせてもらっても業者を代わることはできないので、事業者の指導を的確に協会等でしてほしい。他の店に相談しても聞いてもらえない。一戸建ての家の話が多いが、マンションのような集合住宅ではどうなのかの話があまりでない。
価格	・1. 料金体系・・・請求されるままでしたが、都市ガスよりも割高であることを今回知りました。
価格	・料金体系は店によって違うようで不安。
価格	・料金体系につきましては標準小売価格の設定がないためか、料金が安いのか高いのか、上がったのか下がったのかが分かりづらいのが現状です。情報提供も説明も特にいただいておりません。
価格	・消費者が自分で選択できるよう、価格体系を公表していただきたいです。
価格	・特に、集合住宅においては、ガス料金が高いという指摘が多い。料金内容が十分に説明されていないのではないかと。
価格	・料金体系(二部料金制・三部料金制)については、全く周知していないのが実情です(販売事業者からは説明ない)。
価格	・料金体系の情報提供や説明はされていません。
価格	・通常的には請求金額は気にして、今月は使いすぎ?等と試してみただけでしたが、今回のことで料金のお知らせをよく見たところ、調整費が毎月変動していたということがわかりました。
価格	・契約時の説明責任や料金改定時の説明も不十分な状況にあると考えます。(特に、学生・単身者が居住する集合住宅において顕著です。)
価格	・仮にLPガスの自由料金を維持するにしても、その料金について透明性が確保されること、消費者にとって十分理解できることが最低限必要であり、それなくして不当な価格や不当な販売業者の淘汰はあり得ません。消費者が公共料金のように思って、十分な理解を得ないまま契約してしまい、高額な料金請求を受けるようになってから問題に気づいて、トラブルとなっています。事業者側も、そもそも販売契約締結時に液石法の14条書面を交付していなかったり、契約締結時の書面は交付していても、その後の料金改定時に料金表等の交付を怠っているケースも見受けられます。
価格	・液石法の14条は、「書面の交付」を規定していますが、LPガスの料金体系は一般には分かりにくい面があり、配管や機器等の賃貸料やリース料が含まれる場合(三部料金制など)は、ますます複雑になりますので、販売事業者に分かりやすく説明する義務を課すことも検討すべきと思われます。
価格	・毎回の請求書等においても、一部の販売事業者ですでに実践されていますが、基本料金と従量料金の区別など料金の計算方法を分かりやすく記載するように義務づけることも考えられるところです。

価格	・自由に安い店舗から購入できるなら良い。さらに、購入先を安い料金で選べるならもっと良い。 ガソリンスタンドのように価格を店舗前に表示したらいいか。 施工時点から店舗を変えられない束縛があるのだから、一方的に「次月から〇〇円に値上がりします。」の通達だけでの値上げでは納得がいかない。
価格	料金の説明をして欲しいと思います。料金表を渡すこと、HPで価格を公開して欲しいです。特に値上げするときに説明が必要だと思います。勝手に値上げしたという声は多いです。請求書の中に書かれてあるだけでは気が付きません。
価格	・神奈川県のカナエルさんが価格HPで公開しています。
価格	・料金は良心的かと考えて、不満はないが、何年かに1社で良いので展示・説明を聞く場が欲しい。都市ガスは、クッキングスクール等もたまにはあるようです。
価格	・今の料金体系や情報提供、説明状況は不十分だということから継続的な改善を図ってください。今でも業者変更の営業の際に、営業の人間がきちんと説明できていない状況があります。携帯電話の買い替え時のトラブルのように、メリットとデメリットがきちんと説明できるようにお願いしたい。
価格	・説明は良い。
価格	・自由化の説明体制(事業者への教育)がよりいっそう求められます。
価格	・自由料金についての認識はほとんどないと思われれます。 間もなく電気も自由化になりますが、そこでの比較はガスにも多く影響するのでは。
価格	・料金は、料金表をもっていないので、請求通り払っている。
価格	・メーターをチェックすることも、したことがないので請求通りにしている。
価格	・我家は、ガス派なのだが、料金がが高いのが難点。 料金の説明も受ける事がないのでやはり説明してほしい。 隣人とガス料金が違うのも疑問。
価格	小売価格の地域差が沖縄と比べても25%も高く納得がゆきません。また、自由料金背性であっても、販売店格差が非常に大きく(7月調査で最高と最低7では1.7倍以上の差)消費者の納得は難しいと思われれます。
価格	・料金が業者によりバラツキがある。
価格	・町内LPガス販売店は2・3軒在ります。あまり関心はないのですが多少料金差はあるようです。 しかし料金を計る使用量メータ等の取扱い変更が面倒な様ですので、同店で平穩に継続しています。
価格	・自分の意思に関係なく、住宅地全体が同じ業者となっているので、特別、料金に対して比べることはなかった。今回知人に聞いてみたが不満はない。
価格	・料金が店別々にわかるものがほしい。
価格	・LPガス北海道内において約150万世帯が使用しており、多くの道民にとって生活に欠かせない、極めて公共性が高いエネルギー源である。従って、安定供給はもとより、適正な価格で消費者に提供される必要がある。
価格	・LPガス料金価格が高止まりしていることについて、消費者に対し十分な説明がされていない。原料価格、卸価格が大幅に下落した局面においても、小売価格は極めて小幅な値下がりにとどまっている。使用量5m ³ の平均価格を月ごとにみると、北海道は過去1年以上の間、6,000円を上回り、6月の平均価格は全国平均価格より、1,121円(約23%)も高い。15年前の水準と比べると、価格差は約2倍に拡大している。(石油情報センター調べ)。 全国との価格差が生じる理由については従来から、北海道は他地域に比べ配送コストが高い一方、1戸当たりの使用量が少ないことが挙げられているが、これだけでは価格差が年々拡大していることを受け入れることはできない。 この間の変化として、家庭業務用ガス販売量と販売事業者数の減少があるが、北海道における減少率は、どちらもほぼ全国平均並みであり、地域の特殊事情ではない。 また、販売事業者の減少は1事業者当たりの販売量を増大させ、計画規模の拡大などにつながると思われるが、それが十分に価格に反映されていないのは、事業者数の減少により価格競争が逆に阻害されてきたためと推測される。 結局のところ、北海道は他地域に比べ、LPガス消費者の選択の自由が狭められ、市場原理が十分に働いていないことが価格差を拡大させてきた最大の理由でと考えるを得ない。 特に賃貸の集合住宅においては、入居者は事実上、販売業者を自由に選択できず、このことが料金の高まりを生じさせている。料金に対する利用者の苦情が圧倒的に多いのが集合住宅であるという事実がこれを裏付けている。
価格	・前年も申し上げましたが、容器等の設備利用料金を下げるために業者間で共用できませんか。設備の区分については販売店側の説明も不足しており、一般消費者は理解していないのが、トラブルの大きな要因と考えます。もっと、料金の透明化、低廉化を期待します。
価格	・経済産業省総合資源エネルギー調査会、資源・燃料分科会、石油・天然ガス小委員会の平成26年7月付け中間報告書では、「価格の透明性の確保と低廉化が求められている」としながらも、「LPガス事業者が消費者からの信頼を得られるような企業努力が不可欠」とし、行政としては、配送の合理化や供給構造の改善の促進、小売価格や標準価格等のHPへの公表、各地域においてどのLPガス販売業者と契約ができるのかの情報のデータベース化などにより、価格の透明化と選択肢の拡大による適正な競争の実現を後押ししていくとありますが、これらのことはすでに相当程度行われていると思われれますし、実効性にも疑問があります。行政として、こうした対応で十分と考えているのか、他にも何らかの方策を考えているのかをお聞きしたいです。例えば液石法の執行強化や、法改正により価格に一定の上限を設けるなどといった方策も考えられるところと思います。
価格	・災害時の力強い味方であることは、実感しています。しかし、全国2位のガス料金を支払っている消費者としては、不断の生活にも強い味方であっていただきたい。
価格	・LPガスは他の燃料と比べて価格が安定しているように思う。今後とも安定的な供給を期待する。
価格	・2016年から電力、2017年からガスの小売り全面自由化が予定されています。この間の報道では、通信などとの「セット販売」があげられています。すでに自由料金とされているLPガスについても他業種との「セット販売」などはあるのでしょうか。 全国消費団連が2014年1月21日に開催した慶應義塾大学商学部井手秀樹教授を講師とした学習会では、ガス料金の現在の大きな問題点として「内々価格差」が挙げられ、一般ガスの事業者ごとの価格差は3.7倍、一般ガスとプロパンガスとの価格差は1.86倍と、報告されていました(参考:電気料金の内々価格差は1.2倍)。どうしてこの様な差が生じるのでしょうか。また、液化天然ガス、シェールガス、シェールオイルなどの状況の変化で原油価格も大きく変動しています。価格差は縮小する方向で変化しているのでしょうか。
価格	・プロパンガス料金適正化協会などにより、相談窓口の整備はされてきてはいるように思われれますが、そもそもLPガスは電気料金や都市ガスのような認可料金とは異なり、販売店がそれぞれ料金設定をしていることや、料金体系も異なります。私ごとで言えば、先日風呂釜の買い替えをした(それなりの価格でしたが)今後かなりの長期に渡って、LPガス料金を〇円下げると言われました。この金額も総額ではそれなりになります。嬉しい気持ちもありますが、その一方で料金の分りにくさを感じました。
価格	・都市ガスのほうが料金が少し安い。(実際使用してみても)

価格	・新聞の情報によると、LPガスの価格が下がっても良い状況であっても個々の価格に反映されていない。消費者団体の人達への聞き取りによると最近の50代位迄の主婦は、都市ガスや電気にかえている。 60代以上の主に1人暮らしが、従来通りプロパンガスを使用している。量的にあまり使わないのと変更が面倒だからと、昔からの付き合いだから断れないというのと、煮炊きだけプロパン使用、お風呂は都市ガス、暖房は灯油というパターンが多い。 又、オール電化だが、玄関から風呂場まで距離があり、お風呂だけ工事費の関係からプロパンにしているという家庭もあった。都市ガスの方が安いという意見が多かった。
価格	・消費者の会員から電気代が値上がりすると同じ様にガス代も上り、当然ですが都市ガスと違い高いので困ると言う苦情がありました。
価格	・ガスストーブのレンタルを受けている、快適でした。 願がわくは、料金のサービスがあれば・・・と思いますが。(時期的なものでもよいです)
価格	・料金が安くなること。
価格	・娘が床暖房をしているが料金が高いので使えないという話を聞いた。
価格	・自由料金制度の前提は、競争原理が十分に働き、消費者が事業者を選択する自由が保障されることである。そのためには、料金システムの透明性を高め、消費者が価格やサービス内容を比較して事業者を選び、また変更できることが不可欠である。
価格	・ガソリン等も価格変動がはげしいですが、LPガスの価格をできるだけ安定させるよう期待しています。海外依存度を下げる方策があればと思っています。
価格	・蛇足ですが、価格の競争はいいのですが、消費者を欺くような低価格で勧誘し、いつの間にか前の業者より高くなっていたというようなやり方は印象が悪いと思います。しつこい勧誘もイメージが悪くなります。
価格	・暖房商品には使用料が高いのでは？
保安	・我々はLPガスに限らず、全てに安全・安心・便利・快適を求めています。 過去の事故などから、目に見えないLPガスに対し安全・安心に一抹の不安を感じます。 ガス機器等に更なる改善をお願いします。また、一般消費者に向けては安全使用の注意喚起を進めて下さい。
保安	・LPガスの安全・便利への期待は大きなものがあります。
保安	・電気の方が安全性は高いように感じますが、調理などではLPガスを好む消費者もあり、消費者の選択肢が多いことは基本的に望ましいと思います。 安全面については更なる向上を期待します。
保安	・安全・安心・便利については心配していない。快適については(安全も含まれるが)リフォーム等考えない時は快適な商品等気付かない。情報不足か？
保安	・現在は問題なく使っていますが、裸火を使いますので、安全・安心を考えた時に認知症の家族が出たときなど少し気がかりです。
保安	・災害時の安全が心配。(ボンベの安定性)
保安	・容器がむき出しなのが気になります。何かスッキリしたカバーが商品化されると良いと思う。
保安	・スイッチですぐ点火でき、消火できる。
保安	・安全に使用する様、心掛けています。
保安	・50年以上便利用しています。安全安心便利に利用して異状を感じた事はありません。
保安	・昔はガス切れになると連絡して交換でしたが、現在はボンベも大きくなり2本置きでもあるのでその心配もないので便利ですが、火災等あった場合の心配も強いです。
保安	・声として、ガスの交換時、点検印がない。不安である。長期間留守にしていたが、点検をして頂いた。災害の時ボンベが倒れたり、ガスが漏れたりという不安があります。
保安	・LPガスのイメージが、爆発や臭い等、炎の量が火災につながる等、直接体感に繋がっているため、危険度が高く感じるようです。見えない電気の方が本当は危険なことなのですが、どこかで刷り込まれてしまったのでしょうか。 しかしながら、料理でも火加減は目で確かめるためには、記憶に残るさじ加減ができてとても良いエネルギーです。体に感じる臭覚は一度感じると忘れないことは、自ら危険を感知できることなど、経験がパニックにならない。電気エネルギーはどこかで操作されないと自らの修復ができない、一つの遮断ですべてが利用できなくなるのはとても不安です。
保安	・私はガスが好きです。火力も強いしシャワーの勢いもあります。以前と比べて安全です。 火の消し忘れや、お鍋の焦げ付きもないので心配する事はありません。 災害の時も電気と違って役に立つのではないかと思います。
保安	・今まで不具合を感じたことがないため、他のエネルギーと比べての期待を持ちづらい。
保安	・その中で、安全・安心への期待はとても高く、さらに今後の精度の高さを期待したい。
保安	・1. 安全・・・火災の心配、爆発事故が起きないこと。
保安	・安全・安心については、ほとんど心配することはない(今はほとんど安全対策がなされている)。
保安	・機器も多様化し、すべて安全・安心・利便性をうたっているし、またそのように非常にバラエティーに富んだ製品が多くなっている。高齢者にはまことに便利になったが、用途によっての使用方法、選択基準等、細かな説明が行われないと期待ハズレになる。余分な機能も独居の人には使いきれない場合もある。 安全性については、ずいぶん機器が向上し、大半は安全性についての危惧はないと思われる。
保安	・火の消し忘れ、空焚きが心配ですのでSiセンサーコンロの登場で安心感が得られました。 自宅の買い替えや実家のリフォーム時にも引き続きガスコンロが選択肢の一つとして残りました。 あとは、ガス漏れ警報器が正しく作動することを願います。
保安	・台風で停電になると不便になるためオール電化に変えることは考えておりませんが、年老いた母が、これまで2回ほど空焚き(やかん)、フライパンの火を止めるのを忘れてしまい(お肉を焼いていました)、家じゅうが煙だらけになったことがあります。 忙しくいつもの家事を並行して行う主婦にとって、Siセンサーコンロは安心です。今度買い替えるときにはこれにしようと考えています。
保安	・保安業務の遵守、行政による監督等。
保安	・1ヶ月に一度の指針の折、保安点検をしていただいておりますので安心して使用しております。
保安	・毎月検針請求書担当者がポストへ(留守が多いので)入れていってくれます。その中には使用量の他に保安点検も記してあり ◎容器については ・設置場所 ・火気との距離 ・温度上昇防止 ・転倒落損傷防止 ◎外観等の欠陥については ・調整器 ・集合装置 ・供給管 ・バルブ・ガス栓 ◎腐食防止については ・容器・底部 ・集合装置 ・供給管 ・ガス栓 ◎その他 ・メーター異常表示 ・モレ検微少漏洩表示 ※○×式で示してあります(今までは全く異状ありませんでした)。

保安	・○ 災害現場(特に火災時)にはいち早く掛けつけ、ガスボンベの処理をしている姿をよく見かける。 → 販売業者(取扱店)の責任感の強さを感じている。
保安	・ガス器具の不具合があり連絡した時等は昼夜関係なく掛けつけてくれるので、大変有りがたい。
保安	・ガスもれ点検時など見てもらう。
保安	・LPガスには漠然とした怖さがあります。払拭されるように保安体制の充実をお願いいたします。
保安	定期的に検査をして下さり安心です。
保安	・毎月、定期的に回って来てくれているようなので安心している。
保安	・先日、家の中のゴムホースが古くなっていたので、自分で替えるのも不安でしたが、丁度初めてボンベの交換に来てくれたのに会って聞いてみると、ゴムホースを取りに帰ってくれて交換してもらえた。何でも相談すべきだと思った。
保安	・2. 安心…ガスもれなどの対応をきちんとしてくれること。
保安	・液石法による立入検査に関しては、経済産業省のウェブサイトより、平成27年3月11日付け「平成26年度立入検査の実施状況及び平成27年度立入検査の重点」を読ませていただき、経済産業省本省の立入検査の状況については把握ができました。他方、都道府県による同法の執行状況は、経済産業大臣に報告された後、どのように集約され、公表されているのか教えていただきたく思います。
保安	・液石法14条の書面の交付に関し、北海道内において、立入検査等により状況を把握した結果はどうであったか、行政処分・行政指導の件数、具体的内容などを、少なくとも過去5年分程度について教えていただきたく思います。
保安	・料金よりも安心安全の方を重視してほしい。 その上で料金を低価格になるよう企業努力される方を望む。
保安	・2000年の有珠山噴火で非難する時も、ガス・水道ともに元栓を閉めましたが安心感がありました。
保安	・排気ガスの心配が無。
契約	液石法14条は書面の交付について、「液化石油ガス販売事業者は一般消費者と販売契約を締結したときは、遅滞なく、(略)書面を交付しなければならない」と規定している。しかし、賃貸住宅においては、消費者が入居後に書面の交付を受けることが多く、そこで初めて料金システムや配管・機器類のリース料の存在を知り、トラブルに至るケースが多いと思われる。こうした問題を避けるためには、書面に記載されている内容の説明は、ガス販売契約の締結時ではなく、入居契約締結時になさなければならない、そのためには、ガス販売事業者だけでなく、家主(または管理会社)の説明責任もより明確にされる必要がある。
契約	・「書面の交付、販売店は消費者の自由選択であること」を消費者に周知して、トラブルがないようになればいいと思います。
契約	・不満はないようです。
契約	・悪事例です。中古住宅を売買する時、LPガス事業者を変更のため設備撤去依頼時すると、18年前の契約時、1年間は無料と言われたガス料金を含め20万の費用を請求された。18年前に遡っての料金請求もだが、請求金額に納得がいかという相談が近年続いています。特定業者ですが、協会で指導できませんか？
契約	・被災地から内地に居住された方からの話ですが… 内陸に家を借り、公共料金の契約をすませた後にガス店がきて「契約は自分の店としなければならない。」と主張されたそうです。その店主の態度が傲慢なため他店と契約したい旨を話すとますます態度が悪くなり、施工費の話や負担金・大家に知られたら借用できない。等の話をされしつしづその店舗と契約したそうです。
契約	・今、特定商取引法の改正が議論されています。 2008年(平成20年)の改正で「再勧誘の禁止」等が入りましたが、消費生活センターに寄せられる相談苦情件数は減っていません。訪問販売については2008年99,580件が2013年には90,529件へ、電話勧誘販売については2008年49,273件から2013年には101,945件と倍増しています(国民生活センターPIO-NET情報)。 また、アンケート調査結果では、消費者が「必要ない・来てほしくない」と答えた比率が、2015年2月の「消費者契約に関する意識調査(全国消団連)」では訪問及び電話勧誘で96.3%、また、2015年3月の「消費者の訪問勧誘・電話勧誘・FAX勧誘に関する意識調査(消費者庁)」では訪問販売96.2%、電話勧誘販売96.4%となっています。消費者は不招請勧誘(≡突然、訪問されたり、電話がかかってくることを)を望んでいません。 そこで今回の法改正に「事前拒否者への勧誘禁止」制度の実現を目指しています。 テレビ・ラジオ・新聞など、広報紙・インターネットなど、講習研修・出前イベント・ガスフェアなどでも広報活動を積極的におこない、個別の説明などは直接希望する消費者へ行っていくようにして下さい。
環境	・消費者フォーラム イン千葉ではエネルギーが主題でした。 講演していただいた教授のお話では原発が無くてもまかなえる電力の事を伺いました。フォーラムにあたり、パネルの準備で、婦人会としては、省エネ商品・節電・ラインは短く、エネルギーも地産地消かというところに至りました。 近年の異常気象もエネルギーを考える時に大切な事ですが、科学者の研究にCO2をできるだけ出さない機器を期待しております。教授が、LEDに相当する(ノベル賞も考えられる)良いものが出来ると言われたと記憶しています。
環境	・LPガスによって、環境面を含むリスクが低いエネルギー供給に期待する。
環境	・特に環境負荷への期待と災害時のエネルギー源としての利便性に期待しています。
広報	・ユーザーへの情報提供をすすめ、不透明感、不信感を少なくする取り組み。
広報	・情報提供がしっかり出来ている販売業者は、信頼が厚いです。販売業者の差が大きいのが問題と考えます。事業者協会として自己研鑽お願い致します。
広報	・料金のお知らせと一緒に届くHELLO GAS LIFEの小冊子も楽しみにしていますし、参考にさせてもらっています。又、営業所勤務の方々毎月交代で紙面づくりをしたおたよりでより親近感を感じました。
広報	・LPガス販売指針に基づいて、情報提供している業者もありますが少数だと思います。
広報	・道内のLPガス販売業者は約1600社との報道がありましたが、中小零細業者が多く、消費者が期待し納得する情報提供・コミュニケーションは現状不十分であり、信頼構築は十分な状況にないと考えています。
広報	・全国LPTガス協会さんは、今年3月に「LPガス販売指針」の改訂版を出されています。 この内容は、消費者が抱えている疑問・不満をほぼ解決する完成度の高い販売指針と評価していますが。
広報	・業者によってバラツキがあり全体としては、十分とは思えません。
広報	・情報提供(冊子で)ありましたが、よく読んで(説明は特にありません)安全に使用することにしており、限りあるものとして無駄に使用することには気を付けております。(保温性器具を使用するなど)
広報	・パンフレット等による情報提供のみ。
広報	・若い世代小学校高学年から年輩者まで研修する場があればいいと思う。 日常便利であることのみ考えて使用してきているので！！
広報	・LPガス業者からの情報より、やはり都市ガスからの情報が多いように感じます。販売事業者からの発信はメディアの使用が限定されると思いますので、エルピーガス振興センターが頑張って安全性を発信して下さい。
広報	・LPガスを通常使用していない個人の方々には、どんなにPRされてもあまり興味がないと思います。 夏の時期に屋外でのカセットコンロの使用時の危険性や注意点など、身近な事を通じてLPガスの良い点をアピールして下さい
広報	・LPガスの安全性と料金の透明性についてもっと理解が進むと良いと思います。
広報	・太陽光発電とエネファームと2つの発電システムの普及など、環境に配慮しながらエネルギー消費の効率化を図る事は、今後さらに必要不可欠な事であると思います。 LPガス使用の利点をアピールする事と併せて、ぜひ普及に力を入れて進めていただきたいと思います。

広報	・今年度のリーダー研修会で、演題「LPガスの日常の保安と災害時対応について」を 岩手県高圧ガス保安協会専務理事佐藤氏に講話いただきました。 普段の講話に加え、当団体が希望した内容の資料を準備して講話して頂きました。会員からも「資料がとても見やすく、わかりやすく良かった。」と好評でした。ありがとうございます。
広報	・もう少し、個々の消費者に対し災害時等に当てるの利便性をPRすべきと思う。
広報	・8月8日の土曜日に茨城県(行方地方LPガス保安センター)より最新型の高圧コンロを寄贈していただけることとなり、嬉しく又、楽しみにしています。親子ふれあい料理教室を通して、実践の中から安全なそして便利な機能を体験して行きます。
広報	・オール電化システムの対応としてLPガスの役割の重要性をもっとPRしていく。
広報	・販売店だけの情報提供では説明不足です。
広報	・新しい機器が安全であることをわかるように情報提供してください。
広報	・団体(加工所)で使用していたマルイガスさん、情報紙は楽しいものでした。最後まで気持ちよく対応していただきました。
広報	・LPガス販売事業者からの情報提供があるとは思われません。
広報	・使用者の高齢化、環境問題の深刻化、迫り来る自然災害の脅威、エネルギーの効率的利用意識、世帯構成人数の減少、経済的負担能力の低下など、のくらしを巡る状況変化に対応して積極的に情報提供を受けて、消費者が賢い選択ができるようにして頂きたい。
広報	・情報はすばやくしています。
広報	・魅力的な料理教室を開催したりして、積極的だと思う。
広報	・地域に於て地元業者が年2回程度展示説明会等開催して消費者への情報提供を実施している。
広報	・安全、安心、便利、快適と言っていますが、消費者は理解していないと思います。
広報	・今後災害等を考えて、地域的にしっかりとLPガスの必要性を業者は消費者にもっとアピールすべき。時代の流れにもっと真剣に取り組む必要がある。
広報	・福井市では「市政広報FUKUI」を毎月1回各戸配布されている。情報満載でありよく読まれている。 その中に「G・Cook料理教室」「ベジフル講座」西武福井店前U-Canビル1階G・Cook毎月1回。 又、ガスクッキングスタジオ(企業局1階)で「とろ火ちゃん料理教室」が行われ好評である。 全て都市ガス利用促進のための市の行事で非常に好評である。しかし、LPガスの「料理教室」については、こういった広報による料理教室はない。もう少し市民に目を向けた活動をしてはどうか。都市ガスに変えた市民が増えているので、難しいかもしれないが、広報活動にひと工夫もふた工夫も必要だと感じている。
広報	・私は県内のLPガス協会のお客さま相談員になっておりますので、委員会が開催された時は、色々情報を頂いており、それを自分の消費者団体に報告し、LPガスの意識啓発に努めています。 今年は、2月19日開催以後は今期開催されていないので、どういう相談事例があり、どう協会として対処されたかは判りません。
広報	・ボンベに対する不安は少なからず、どなたでもお持ちなのではないかと思えます。刃物と同じで、存在が危険なのではなく、扱い方が大切なのだという理解が求められると思います。利便性については、災害時に感じています。
広報	・Siセンサーコンロに変わって、使いやすしい。安全で掃除しやすい。しかしながら、IH電気の商業情報は積極的で、施設で料理教室の開催やテレビの放映や教室を無料開放があり、そこで団体等の料理教室ができるのはとても広報活動に強みです。
広報	・あまり良く理解していません。
広報	・今、食生活のブームや地域ブランド等ドラマ化でブームが起きています。そんなドラマの中に取り込むなど、また、生活の知恵等の情報番組に取り上げることも良いのでは。
広報	・ガス展やパンフレットはよく見ますが、直接聞く事はありません。
広報	・月に一回広報誌が送られて来るくらいかな？ 内容は充実しているので、毎月楽しみに見せてもらっています。
広報	・全くない。
広報	・全くもって不足と感じる。
広報	・せっかくの優れたエネルギーなので、良さをもっとアピールすべき。
広報	・ラジオ、新聞、特に新聞媒体でのPRは大切と考える。
広報	・インターネットの時代だが、意外と一部の年齢層にしか届かないと考える。
広報	・1. 情報提供・・・パンフレット、説明書の配布良好です。
広報	・2. 情報提供・・・主に印刷物により、知ります。
広報	・3. 説明状況・・・特に説明はありません。
広報	・LPガス販売事業者から直接提案されることはありませんが、配布される情報紙には紹介記事が載っています。
広報	・配布される情報紙「ムティ」には、ガスの扱い方や料理・新商品・災害救援隊等、記事が満載されていて、契約世帯にはコミュニケーションがとれていると思います。 インターネットでは、情報のやり取りができるので安全対策や料理コーナーで消費者の関心を高めるといいでしょう。
広報	・一般消費者には、ほとんど伝わっていないと思う。 料金体系は全くわからない。
広報	・情報提供は積極的だと思います。
広報	・自宅に関して、現在の販売事業者には、ほぼ満足している。
広報	・大分県では消費者団体連絡協議会構成団体各代表が苦情相談所委員になっており、委員会開催時に寄せられた相談内容についてキメ細かな検証が行われ実に活発な意見交換が行われている。事業者側、消費者側それぞれの課題解決に向けて手法も議論され、風通しのよい情報提供により啓発に努めている。 最も多い相談内容は料金についてで消費者側では自由料金となっていることを理解していない人もいるので、もっとコミュニケーションをはかる必要も感じられる。
広報	・料金体系についても少し情報提供すべきと思われる。特に高齢者は外食、子どもの所へ長期間寄留したりと留守や使用時間の短い場合、当然もっと安いのではと思ってしまう。基本料金を払うことに疑義をもつ人、理解不足の方が多い。情報提供不足と思われる。
広報	・広報、料理教室、各団体宛、キャンペーン活動等により息ながく啓発に努めてほしい。
広報	・相談所委員会、料理教室、イベント等で情報提供はしっかりやっているとされる。ただ戸別でのPRは少々不足していると思われる。日中留守の人が多く、新聞広告、各団体向けなどで提供していくことにより徐々に関心をもってくるとされる。大分県では近日中に大きなイベントがくり広げられることになり県下一円よりの参加者も多く、楽しみながら知識を得られると思う。
広報	・情報提供について、電気にくらべて説明・情報は少ないです。
広報	・販売店からの情報提供はありません。 大きい販売店ならあると思いますが、年に何回あるかわかりません。
広報	・情報誌は毎月提供がある。
広報	・情報は、1ヶ月1回は広報誌により提供あり。
広報	・1ヶ月1回は必ず情報提供がある。
広報	・一般的には広報誌が一番と思うが、田舎の方で、ガスを使用する人は高齢者が多いのでインターネットと両方必要と思う。
広報	・特に情報提供があるわけではなく、積極性は感じません。

広報	・料理講習やガスまつりなど多く取り組まれているようですが、自社のホームページやショールームやお取引先様への配布と限られているようです。食育や伝統料理教室など、とてもいい取り組みをされておりますので、ぜひ多くの方の目に留まるような広報を期待します。
広報	・電気、灯油、都市ガス等との競争があるが、PR活動の際は、客観的な評価(数値)で進めてほしい。
広報	・3.11震災後に分散型エネルギーとしての役割に気付いたばかりで、まだまだPR不足で一般家庭ではあまり認知されていません。また、行政に対しても災害対応としてのPRを強く奨めていますか？
広報	・一般消費者が認知するには、テレビ、ラジオでのPRが有効かと考えます。
広報	・PR不足とは思っていません。
広報	・視覚にうったえるのは効果的だと思います。
広報	・広報誌はよいと思いますが、インターネット等の普及率ほどの位なんでしょうか？ 自分の興味のあることには活用されるとは思いますが、我々年代では所有していない家が多いのではと思っています。
広報	・PR不足と思います。 PRは、家庭用と避難所のエネルギー源とを分けた戦略が必要です。
広報	・軒下在庫(ボンベ内容器在庫)が自主備蓄として役立つことは理解できますが、PR不足かどうかはわかりません。
広報	・これらを行うのであれば、消費者の疑問や不信に答えるようなものとしていただきたいと思います。ただし、費用対効果の問題もありますし、それ以前のこととして、料金体系の透明化や個々の消費者に対する丁寧な説明、請求書・検針票等の記載内容の充実などが徹底されるように取り組んでいただきたいと思います。
広報	・平成27年3月改訂のLPガス販売指針にもありますように、料金の算定方法や標準的な料金の公表にとっては有用なツールだと思います。
広報	・当地で家庭用ガスコンロが使用不可になるほどの災害がなかったのを知りませんでした。 PR不足とは言えませんが今後は是非知っておくべきだと思います。
広報	・「東芝〇〇フェア」など事務所のある会館で開催されているののみをみただけで、ガス購入店からの催し物の案内は無い。当事務所職員に聞いてみたら、年末やお中元に2枚小皿がカレンダーと一緒に届くそうです。カレンダーは、我が家にも届きますが店舗によって差がありますね。
広報	・テレビの力は大きいと思います。 普段から何気目に目にしていたことを思い出すこともあると思います。
広報	・期待しています。目にふれることが少ない。
広報	・積極的であるとは言えない。
広報	・新聞等においてPRすべきと思う。
広報	・いずれにおいてもPR活動が望まれる。
広報	・最新型のガスコンロを使用できるのを楽しみにしていますと共に、安全なそして便利で使いやすいと言うことでわくわくした気持ちでその目を待っています。
広報	・消費者の活字ばなれに不安な部分を感じられます。がPRは必要だと思っています。
広報	・必要だと思います。
広報	・体験型のイベントは即実感出来るので良いと思います。
広報	・消費者一人一人に災害時にLPガスが大事な役割を持っていることへのPR活動をして、しっかりとLPガスの重要性が理解されていくようにする為にも必要です。あまり情報が少ないのは問題です。
広報	・インターネットも高齢者は出来る人ばかりではないと思うので、広報誌を使えば良いと思います。
広報	・テレビ・ラジオ・新聞等とてもわかりやすく説明しているので、十分なPRになると思います。
広報	・時代と共に広報誌、インターネット等によるPR活動、素晴らしい活動になると思います。
広報	・PR活動。 いたる場面でPRは必要で期待します。
広報	・高齢者は長年慣れ親しんだガスを愛していると思うのですが、危ないからとオール電化を選択し、使い勝手がわからず調理をしなくなるのではないのでしょうか。もっとガスの安全性をアピールして欲しいと思います。
広報	・PRは不足していると思います。
広報	・テレビは効果があると思います。
広報	・インターネットは期待できますが、見てもらえる工夫が難しいです。HPに書けばいいというものではありません。価格のランキングを業界団体で行うような思い切ったことが必要です。
広報	・イベントでのPRがいいと思います。やはり体験型がいいと思います。
広報	・高効率の新商品、補助金の事等はPRが必要。
広報	・昨年のこの場に出席して初めてその資料を拝見し、知識として受けました。PRが足りているかと言われれば、「不足している」につきます。
広報	・テレビ、ラジオ、新聞等の媒体はかかる経費の割に、効果は薄いと思われます。
広報	・期待はあります。メール発信でもいいのですが、定期的に(年4回程度でも)情報を生協や消費者団体に情報発信することはできないでしょうか。
広報	・少し手間ですが、地域に近いところでPRする方が、双方向のコミュニケーションとなって、効果があると思います。
広報	・PR不足を強く思う。
広報	・各地で頻りに災害が発生している昨今、災害時のLPガスの供給に期待が高まっています。 各団体と連携してPRを行ってほしいと思います。
広報	・インターネットでのPRは、使用しない人には伝わらないので、高齢者には見守りを兼ねて広報誌の配布も効果が期待できます。
広報	・テレビ、ラジオ、新聞等の媒体によるPR活動は軽快な音楽で耳に残っています。
広報	・広報誌は時々目にしますが、インターネットでは目にとまったことはありません。
広報	・PRして下さい。
広報	・PRして下さい。
広報	・福島原発事故以降下火になったが、火を使わないから安全だから高齢所になったらオール電化にと思っている人が多いと思う。オール電化のPRは頻繁にある。それに比べてLPガスのPRは少ない。宣伝の効果は大きいと思います。
広報	・若い人はインターネットから得る知識が多いと思います。これからの人にLPガスの良さを知ってもらう為にも積極的に取り組んで下さい。
広報	・いろいろと電力に比べてよい点もたくさんありますが、すべてPR不足です。電力に負けてしまいます。
広報	・折角、お金を使ってやるのですから、LPガスを使いたくなるようなPRをしてほしい。
広報	・人々が心を動かすPR活動にしてほしい。
広報	・PR不足。
広報	・都市ガスとの違いをもっとすべきである。
広報	・インターネットを利用し、モニター制も効果が得られると思う。

広報	・巨額を投じて都市ガス企業と同様のことをしてもムダが多いと思います。 もし、そのようなメディアを使う場合は、広範囲の統一的なものではなく、地域に密着した小規模な媒体も上手に利用すれば良いと思います。
広報	・LPガス利用世帯の特徴を把握しておられるか？ということ。例えば、都市ガス利用世帯に比べて平均年齢が高いとか、地方になるほど地元自治体の広報誌の読了率が高い(であろう)とか。という特徴を考慮しながら、効率の良いPRをできるようにと期待します。
広報	・CM費用が価格に追加されない様、望みます。
広報	・お願いしたいです。
広報	・インターネットにPRで活用してほしい。
広報	・時代の波にうまく乗らなくてはなりません。判らないからではなく何事にも挑戦すべきです。PR活動よろしくお願ひします。
広報	・すべての活動大賛成です。 地域を活性化さす一考にもなれば・・・と期待致します。
広報	・期待します。 しかしPR活動には費用もかかることだし、ガス使用代の値上がりが心配になりますが、如何でしょうか。
広報	・期待します。 しかしPR活動には費用もかかることだし、ガス使用代の値上がりが心配になりますが、如何でしょうか。
広報	・一番身近なテレビが大切です。小型ガスコンロの回収に大きく反映されました。
広報	・インターネットは高齢者、女性客には未だ普及していないと思う。 テレビが身近です。
広報	・テレビが目、耳に入りやすい。
広報	・あまり利用しない。
広報	・広報するのに、決め手はないのでしょうか。 あらゆる方法できめ細かく伝えることが大切です。伝え方も色々・・・。 視点を変えて、方法も工夫して、よりわかりやすい、納得できるものが効果があります。研究して頂きたいものです。
広報	・LPガスの強みをもっともっと情報としてながしてほしい。
広報	・もちろん、これからの情報はインターネットでしょう。 小さなヒットが大きな反響になるので、どれだけうまく「つぶやく」かでしょう。
広報	・農業法人等では今、生産者自ら「ノグザイル・・・」「元気な～」グループでそんな元気あるPR活動も。
広報	・テレビで見ることがあるので興味はある。
広報	・テレビはすぐ消えるので、何度もながすことが必要。
広報	・参加者が集まりよい内容が必要。
広報	・ガス機器もいろいろ便利になっているので大変興味はあります。
広報	・テレビ・新聞等ではよくPRはできていると思われるが、内容をもっと詳しく知らせてほしい。
広報	・新築の家はほとんどと言っていい程、オール電化になっていますが、ガスのPRが足りないのではないのでしょうか？
広報	・“動くエネルギー”、“自由度の高いエネルギー”、“環境に順応するエネルギー”など、世情に訴えていくべきと考える。
広報	・新聞は紙媒体であり、文字や図表として後ほどまで残せるという利点を生かすべき。
広報	・広報誌って、なかなかLPガスに興味を持たない方々へは届かないのでは。
広報	・イベント、フォーラム、フェアへの参加は大切と考える。
広報	・テレビ・ラジオ・新聞等では、ほとんどLPガスの広告や記事は目にしません。 もっと、利点をアピールした方がよいと思います。
広報	・テレビ・新聞はほとんどの年齢層の人が見るので、PRの効果があると思う。
広報	・十分なPRがなされていると思う。
広報	・LPガスのPR画面を良く目にします。活動を期待しています。
広報	・テレビ広報誌等でLPガスのPR画面を良く見かけます。災害に強いエネルギーとして宣伝していますが、もっと宣伝してください。先日の大水害のときの対応は大変だったと思います。
広報	・自宅の業者さんは、新製品等のPRは積極的ではない。 熊本県内・山鹿市内の業者のPR(テレビ)・新聞広告・チラシではされている。
広報	・一般的にはテレビが一番だと思う。 仕事上テレビよりラジオ主流の方、新聞を見ない人も今多いのでPR活動方法も大変だと思う。
広報	・インターネットを使用しない方もまだまだ多いので大変だと思う。 若い人は関心があり、ネット購入・情報もネット主流なので親に説明されている知人もいる。 ネット上でのイベント紹介も、少し先のをあげていただければ会場近くに外出の時寄ってみたいと思う。
広報	・熊本でも青年部ボランティア活動や2・8月献血活動等で社会貢献も多くされているが、皆さんにはまだまだその活動内容が知られていないと思う。 女性団体・学校教育団体にもっと積極的に呼びかけられてもよいのではないだろうか。 デパートでのガスフェアは立ち寄りやすく人が集まりよいと思う。
広報	・大分では新聞、テレビ各社への広告依頼を積極的に行っているし、切り抜いて張っておかれるようにしてほしいという要望に応じてくれました。 テレビコマーシャルにも努められている。
広報	・消費者団体向けに情報提供していますので、各団体ではそのチラシを会員向けにPRしています。
広報	・PRが不足してます。
広報	・ラジオ・新聞より、テレビで紹介した方がわかりやすいと思います。
広報	・IHと比較する際に電磁波のことが話題になりますが、自主備蓄がメリットとしてPRされたことはありません。もっとPRしてもいいのではないのでしょうか。
広報	・もっと露出があったり、メリットをお知らせするような内容のPRがあってもいいかなと思います。 「くらしの中でガスコンロがあって家族で食事を作っている」イメージのコマーシャルが流れていますが、Siセンサーコンロの機能や料理教室の案内にフォーカスした内容だと、ショールームにいらっしゃるお客様が増えたり、「こんなこともやっているんだ」という認知につながるのではと思います。
広報	・過日の講話の中で知りました。学習会がいかに大事わかりました。
広報	・東日本大震災の時沿岸部では、炊き出しや暖をとるひとつの方法として、流れついたガスボンベを拾い集め活用したそうです。 長期で漁に出る漁師船には、ガスボンベが積まれており使用しているそうで、船元の女性の機転で漁師に「今のボンベには、地震が来れば自動ロックされている。思いボンベを選んでくるように。」と依頼したそうです。 『地震が来れば自動ロック → 時代の仕組みを知っている 重いボンベ → ガスがたくさん入っている』
広報	・よくわかりません

広報	・分散型エネルギーとして災害時に強いこと、また、軒下在庫の強み、具体的に役立った事例など、もっと積極的にアピールしていても良いと思います。
広報	・近年、オール電化の建築が増えていますが中越震災を経験した地域ですので、対応として非常用にストーブ、LPガスを考慮されている人もおられます。 しかし、まだPRが必要と思われる。
広報	・個人的にはLPガスお客様相談委員をしておりますので知っておりますが、知らない人が多いです。 PR必要。
広報	・災害時にLPガスが役に立つという情報は知られてきていると思うのですが、日常使用していないと間に合わないということをもっと伝えなくてはならないと思います。 エネルギーの自立がいざという時に命を救うことを伝え、少なくとも学校や公共施設での使用を推進して欲しいと思います。消費者が訴えていかなければならないと思いますが。
広報	・震災で被災地で、天然ガスの地域の方は、ボンベがあつて良かったと実感しておりました。PRは平素目にしておりません。
広報	・昨年、災害時対応の大きな釜・鍋を見せていただきました。 各市町で催されるイベント等でPRする、実際に使用してみるをせずに災害時につかえるものにはならないと考えます。
広報	・まだ実態が理解できていません。今後PRの時をお願い致します。
広報	・最近地域規模で発生している環境の変化にエネルギー問題への影響、安全供給への不安等一層レベルの高い災害対策等について説明をお願い致します。
広報	・どこにあるのか:住民にも知ってもらうことが重要です。
広報	・電化のPRは活発だが、LPガスのPRは不足です。災害の目立つ今こそ大々的にPRして下さい。
広報	・まったくPR不足としか言い様がありません。 災害時は役立ったと一時的に言っていますが、時間が過ぎれば忘れていきます。常にPRをしていなければならないと思います。
広報	・聞いてはおりますが、実際には頭には入っておりません。
広報	・不足しています。
広報	・聞いた事はありません。
広報	・PR不足であるとの声もあるようですが、都市ガス企業と同様のことはできませんし、エネルギー基本計画にもありますように、「インフラと呼び得る」組織全体への営業活動に重点を置いて理解を深めていくのが急務に思います。
広報	・PR不足だと思う。 災害時に役立つ事は衆知だが、働きかけもなく、どこで申しこめばいいのか、という問い合わせもある。努力不足を感じている。
広報	・知っている。地域住民の一部では、すでに利用していると聞く。しかし災害用に利用したくても価格が高いため、断念したと聞く。
広報	・不足と思います。最近では色々な災害が多く、前にくらべて環境のせいとか大きい災害が多いので、テレビでも新聞にでも報道するとういと思います。
広報	・二年程前に大阪ガスの施設で見学したことがあります。
広報	・私の地域では全てPR不足です。今初めて知りました。
広報	・全く知りません。 遅まきながらしっかり勉強させていただきますと共に地域の安全対策にもっと力を入れなくてはならない事に気がきました。
広報	・電化に比べLPガスのPR活動が少ない。 災害対応などに役立つことを知ってもらうために、PR必要と思います。
広報	・公共施設でオール電化が取り入れられているが、防災にはLPガスが必要です。共有施設が必要となる様、広報されたら良いと思います。
広報	・PRは必要です。水害、風害、天災のみでなく炊き出しはいつ起こるかわかりません。災害時にも利用出来る様に近くの公民館へのPRをお願いします。 (鳥取県での豪雪時は1000台の車輛が国道を封鎖しました)
広報	・PRして下さい。
広報	・公共施設でのオール電化を見られるが、ガスとの共同利用の推進は行われているか。 (安心、安全の期待にも書きました) 防災講習時には、特に必要性を重点的に広報して頂きたい。
広報	・あまり知識がない。
広報	・不足と思います。
広報	・設備があることは知っていますが、どこにあるかはわかりません。
広報	・オール電化が増えていますが、停電をすると全ての機器が使用できないこととなります。電気やガスの有難さがわかります。エネルギー源としてどうあるべきなのか、私達消費者はよく考えて選択すべきです。 メリットもデメリットもきちんと消費者に伝えて下さい。
広報	・各市町村の広報誌にコマーシャルすれば目につく。全戸に配布されているから。特に災害対応は、お知らせが大事。
広報	・よく分かりません。PR不足ではないのですか？
広報	・災害時に、調理ができる、入浴ができる、暖をとれるということは一番大切なことです。それは生死にかかわることだからです。 災害時の新聞、テレビなどの報道により、LPガスの利点が知られるようになり、これが何よりのPRだと思えます。
広報	・PR不足である。このことについて、話す、ほとんどの人が知らない。
広報	・災害時にすぐボンベを設置してもらえれば調理ができ役立っている実情が知られていないと思う。 災害対策・防災訓練等で説明されるのも必要だと思う。
広報	・まだまだPR不足と思われる。最近のように大災害が発生すれば、もっともっと情報提供していくべきだと思います。 災害時にはLPガスの存在がいかに大きいのか、また必要ではないかと積極的にPRしてほしい。
広報	・災害があった時はLPガスが役に立つ事は知っているのですが、もう少し宣伝の方法を？
広報	・宮崎での講習(お客様窓口)で聞いた所、家を作る工務店さんとの意見交換をとの事です。 私は、それはいいと思いました。家を新築する際、工務店さんはIH機能しか勧めません。新築する時に、ガス管と一緒に家の中を通したら、災害の時、停電になってIHが使用できなかつたらガスが使用できます。 この事をもっと宣伝・PRに使用する事が必要と思いました。
広報	・PR不足と思う。
広報	・事業者によって違いがあるように思われる。
広報	・あまり積極的な感じはしない。
広報	・3つ取り付けのコンロの1つはセンサーコンロ？になっている。全部がセンサーになっていると安心と思う。 その他の商品については興味がないわけではありませんが、家族が少なく(2人)数年後空家になることを思うと興味がわかない。
広報	・センサーコンロはとても安全性にすぐれていると思います。ただ、本格的に調理をする方からは3口コンロがあれば、1つはセンサーがないコンロがあった方が使い勝手が良いという話を聞くことがあります。(あまりに反応が良すぎて、強火での調理がしにくいとの事です)

広報	・情報提供が積極的とは言えないが、ガスコンロの取替時期のタイミングに合わせ話題にし、説明して下さいましたので早速取替えました。(Siセンサーコンロ使用中)
広報	・現在のところ、エコジョーズやガス暖房商品等の利用(取替)は考えていません。
広報	・今使用している器具が壊れたり使えなくなると限り、余り興味を持たない。というより、消費税が上がり、今の生活維持で精いっぱいのため持てない。
広報	・営業のための商品情報提供はあります。
広報	・あまりよく知識がないせいか、興味もうすく、高価であるというイメージがあります。
広報	・工事が大変なのでは？
広報	・機器はより安全で便利になっていると思うが、さらに一層安全で使いやすい機器が求められると思う。
広報	・エネファームについて関心を持っています。
広報	・理解促進が重要だと思っています。
広報	・あまり積極的とは思われません。業界団体で取り組みが必要と思います。
広報	・もっと積極的にして欲しいです。事業者からの説明がなければSiセンサーコンロ等の機器についてわかりません。テレビ等のCMが少ないので。
広報	・我が家ではSiセンサーコンロもエコジョーズも使用しています。暖房もガスです。ガスコンロにタイマーがついていることも自動炊飯装置があることも知らなければ興味を持てないと思います。
広報	・Siセンサーコンロ…もっとはやく知りたかった。安全・安心以外に熱効率も重視してつくられたのでしょうか？と感じ快適です。
広報	・全くありません。販売事業者は、JA成田市ですが、もしあまり積極的すぎても困るかもしれません。
広報	・年2回の展示会の通知があり、配布されたチラシでガス器具の進化を確認しています。
広報	・認知度が低いのでガス利用の製品には興味があっても遠い存在ではないかと思っています。
広報	・実際に現物を見て知ってもらうのが一番ですが、その場所へ行っていただく工夫が必要ですね。
広報	・消費者団体から、事業者にLPガス用商品についての勉強会をお願いしたが、一回ではなかなか理解できない。高額の商品なので、再度学習会を持ち、理解を深めたい。LPガス販売事業者からの呼びかけによる情報提供はない。
広報	・センサーコンロ、エコジョーズ、エネファーム、ガス暖房商品等への興味は大いにあるので、商品の説明や、価格等くわしく聞きたいという人が多かった。
広報	・良い商品が出ている割合、あまり積極的な働きはみうけられない。現在、利用している電気・都市ガス事業の家庭の人々にも情報を提供してもいいのではないかな。
広報	・興味は多いにある。展示会や、リース、試用テストなど出来ればいいと思う。
広報	・田舎です。情報が少なく全く知りません。
広報	・購入したいけど電気製品にくらべて高いと思う。
広報	・現代何の不満もなく快適に過ごしている。唯LPガスよりも器具に不満ある。
広報	・その都度情報提供していただいているが、使用している人間が旧態依然の古い仕来りの中で生活しているので進化した機器にはあまり興味ない。
広報	・興味なし 暖房器具は我が家ではホームコタツと練炭火鉢のみ。
広報	・ガスコンロから鍋釜おろせばすぐ火が消える器具があれば欲しい。 何故・・・90才の夫は時々ガスの火を消さず鍋をおろす。炊事場がなんとなくあたたかい…気がつくくとガスの蛍火がついている。(おはずかしいです)
広報	・期待は大いに持っていますと共に、各地域の防災活動にはもっともっと真摯な取り組みが必要であると思います。特に様々なガス器具等々の普及についても勉強すべきだと思います。何分高齢者ばかりになる地域社会の改善の一つでもあるように思います。
広報	・料理の火力が目で確かめることができることは、数値化だけでなく体験から料理の伝承が記憶の残る伝え方ができ、すばらしい機材です。
広報	・個人的にエコジョーズについてはまだ詳しく知識を得ていないが、環境に配慮したもの、経済的にも良いとのこと、これから床暖房に考えているので興味があります。
広報	・興味はあるが、フェアがある時等でないとパンフレットもらっただけでは、よくわからないと思う。パンフレットをもらったことはない。使用している機器が古いので勉強してみます。
広報	・以前と比べずいぶん安全性能なので、外出時等の心配がなくなったガラストップなので掃除が楽。 炎があるので、高齢者には心配。
広報	・情報を知らないため、興味までつながらない。
広報	・情報が少ないので、機器についてあまり知らない。
広報	・質疑等の可能な講習会は、意義があると思う。
広報	・我が町では、平成25年防災研修会開催時に北海道LPガス協会の防災アドバイザー石原さんにお話頂きましたが、女性だけでなく男性の参加もあり好評でした。 また生活学校関連の“あしたの日本を創る協会”からもLPガス研修会開催しませんかのパンフレットの郵送が何回かありました。
広報	・講習／研修に関しては、LPガス振興センターから、平成27年7月に当方の企画した勉強会へ講師を派遣していただき、大変参考になりました。こうした活動は有意義なものと思います。
広報	・講習・研修の大切さを感じています。 親子料理教室などイベントの中に組み込まれていると楽しく学べますね。 売る気満々のイベントには、行きたくない気持ちの方が先になります。
広報	・期待しており、団体としても出前イベントなど、お世話になってます。 もっと多くの地区にすすめたいと考えてます。
広報	・毎年参加させていただき、国の情報や各県の取り組み等大変参考になっています。
広報	・実際に講習会等に参加して勉強させて頂ければ現実の時に役立てると思います。
広報	・使用していない人をショールームや講習会等にお誘いし、LPガスのメリットを理解していただくことも必要です。 ガスフェア等の催しをスマートに開催してほしい。
広報	・PRして下さい。
広報	・講習会や研修会では議論をして、電力とLPガスについてよい点悪い点等いろいろと出し合ってはどうでしょうか。
広報	・例えば、2014年8月に京都府亀岡市で開催したようなフェアが、各地を巡回するかたちで行えばと思いますが、予算的にも頻繁には、難しいでしょう。長期的な計画を、府県単位ではなく、近畿というエリア内で立てられたら良いと思います。
広報	・積極的にとりくむ方がいいと思う。 広報誌の場合、むつかしく、理解しにくいものが多い。子ども向きの資料も必要だ。 エネルギー教育を学校や地域社会でやってほしい。
広報	・効果があると思うものは、積極的にやってほしい。

広報	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な情報交流 ・有線ラジオでゲスト出演 ・八尾市自治体との防災協定 <p>H27. 8/5 毎年消費者大会で消費者への展示による情報提供。 同日、アトラクションで、協会事務局・専務が衣生活改善のファッション・ショーに行政の皆様と一緒にモデル出演。アピールで、親しみを感じています。 ※LP事業者の貢献者表彰はあっても、積極的に協力する一般の評価がされないことは少し残念に思っています。</p>
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・講演をお願いしますが、その時にクッキング簡単なおやつ講習とかあれば参加者も多く成ります。H28年1月25日、26日、28日、29日の間でLPガスの学習会を予定したいのですが、丹波市まで来て頂けますか？
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・期待します。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会、子供会、等の料理教室を期待しています。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の料理講習会では、電子レンジの利用が多い、ガス業界での対応はありますか。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・近くである時は参加している。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・家に売り込みに来られても困るし、自分から足を運びます。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・PRは不足。聞いたことない。 <p>先日LPガス講習会開催させてもらいました。その時に勉強しました。</p>
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・上記のイベント等が不足しているようです。 <p>西部ガスでは、積極的にお客を呼び込んでいるようです。 LPガス販売店の個別では、行っていないようなので、団体が丸となって、安全対策の講座やガス器具の体験講習が必要だと思えます。</p>
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス燃料に関心のある人が参加していると思うので期待できると思う。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている。 <p>防災訓練の下準備勉強の時学んだ。</p>
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・LPガス教室の開催により楽しみながら料理教室への参加を行っています。気軽に対応して頂いています。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・講習を受けた人は知っていますが、その外の人達は知らないと思います。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・私達婦人会は、年に何回か講習をしますが、出前イベントは未だした事はありませんので、その仕方等お知らせ下さい。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・私達の団体にも講習、研修案内は来ています。 <p>何かもっと高齢者に対しての指導があったら、と思うが、どうしたら良いのか今度の会議で学習していきたい。</p>
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・親子料理教室や手作りのおやつ作りなど、一緒に台所に立ちながら、ガスを使う昔ならではの調理法を子どもに伝えたり、先人の知恵を継承することによって命が受け継がれてきたことも伝えることができます。私たちの体は食べたもので作られます。食べること、調理することの大切さを伝えていくためにも、一緒になって取り組みたいです。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・先日、伝統料理の講習会に参加した際に、これまでの長寿を支えてきた「食」と調理法を教えていただきました。インスタントや冷凍食品が多く流通していますが、一緒に作ったり、一緒に食べたりなど「食」を取り巻く環境がよくなったようには思えません。「食」にこだわった講演会や料理講習などに継続して取り組んでいただき、ありがとうございます。ショールーム兼調理室には調理器具も最新のものがそろっているので、とてもいい取り組みをされていると思います。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり以前になりますが、ユニットバスを設置してもらいました。その後長府ボイラーが故障した際、エコジョーズにしたらどうかという提案を受けましたが、一度に払うのは迷っていたら、リースという方法で払うのはどうでしょうといわれ即決いたしました。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年秋に開催されるガスフェアは楽しみの一つです。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、内閣府消費者委員会専門調査会で、訪問販売等の不招請勧誘に対する規制が議論されていますが、「提案型営業」は訪問や電話勧誘など方法や程度如何によっては、消費者の迷惑となってその権利を侵害したり、トラブルの原因ともなりかねませんので、注意が必要と思います。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・店名が書かれている車を運転するときは、周りに特に気を付けた方が良いと思いました。お店や会社の看板を背負っていること。消費者は、その運転次第で気持ちが変わります。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスフェアなど、ちょっと行きづらい気がします。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅フェア等とコラボしてはどうか。【異業種】との交流も大切だと思う。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や料理講習をやってほしい。 <p>ガス展は年何回も行っているのいろいろな勉強になります。</p>
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・全くもって不十分である。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分と発言しながら、こちらも気に留めてないところや供給側に求めているところに課題があると思う。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・異種分野への出展と出店も意外と普及啓発につながるのでは。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・3. 信頼構築・・・時々のガス点検対応旅行です。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビは持たないため、回答は避けたい。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・カセットコンロについては防災用品としては考えたことはありませんでしたが20数年前より常備しておりました。 <p>災害時のガス供給停止の防災用品として便利であることを再認識しました。</p>
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃何も無い時には、業者とか自治体はあまり説明不足な面が往々にしてありますが、実際に災害が起きると、あわててしまう。やはり普段からLPガスに対する災害時対応できるよう業者・自治体が十分準備し緊急事態にそなえる必要があると思います。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・バルクシステムはこれからの災害には必需品として準備してほしい。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・先月の災害報道の中で、ガスボンベが多く流れている様子がありました。軒下のボンベが流出したのと考えますが、もっとも正確なPRと、災害時の説明をするべきではないでしょうか。 <p>また、災害時の配送のためのライフラインの確保についても、広報すべきと考えます</p>
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に、専門的知識のサポートを誰が担うのか、事業者だけに頼るのか、防災サポートの認証制度もあって良いのでは。 <p>災害時における優位性は、かなり浸透していると思われるが、災害に備えて自主備蓄している家庭は少ないと思われる。公共施設や町会などに重点的に配備することが現実的ではないか。</p>
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会で知りました。災害時に対応できる設備として、自治体や各団体に連携を働きかけて下さい。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・災害がより身近な所で起きています。防災の上では是非、検討して頂きたいと思えます。設置を義務づけてもよいのではないのでしょうか。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・LPガス講習会で知りました。 <p>また、市内の公民館で導入したという話も聞き、心強い味方だと思いました。</p>
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「いざ」という時に、活用方法を思い出せるようならば十分と言えるでしょう・・・その点からすれば、まだまだのように思います。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にあり、あたり前の生活の中から震災を体験し、大切さを実感しましたが、まだまだPRは大切だと思っています。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時対応は両方必要と思います。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・S55年大雪で一昼夜停電の際はガス炊飯器(ストーブも)取り付けてあり食生活には全く不便を感じませんでした。(照明とお年寄りの暖房は工夫しましたが)
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて耳にするものです。 <p>3.11東日本大震災においては被害は少なく、むしろ市ぐるみで被災者を受け入れましたが、これからはどこかでいつ何が起きるか、わからない不安はあると思う。知っておいたほうが良いと思います。</p>
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強します。

災害対応	・我が家はLPガスの他に電気も灯油も使用しております。 震災時には停電することが多い。3.11の震災時にオール電化家庭の友だちは大変パニックしていましたがLPガスでお手伝いが出来ました。大変喜ばれ、感謝されました。 LPガスの便利さが身にしみました。
災害対応	・知りませんでした。
災害対応	・災害時はほとんど停電となります。 震災等大災害時の事を考えると、地域内に1基程度は是非ほしいと思います。特に避難者たちは大変助かると思う。
災害対応	・安全・安心は、最ものぞむところですが、他のエネルギー、電気などと比較した場合不安もあります。災害時に使える利点はありがたくおもいます。
災害対応	・災害時は、他のエネルギーとくらべ最も普及なども早く、期待が大きくなると思う。
災害対応	・ライフラインが止まった時は、すぐ対応出来るのが良い。 火力が強いので、レストランや中華関係はLPガスを使っている。
災害対応	・「災害対応型LPガスバルク供給設備」について詳しく知りたい。
災害対応	・災害・事故等有事には、やはりLPガスである。電気に頼らなくても良い事は実感。
災害対応	・その他 東北大地震発生後のニュース映像で、津波に流されたボンベが爆発、炎上するのを見ました。災害に強いのはメリットの一つですが、災害時に流されない、もしくは火種にならないような仕組みにはなりませんでしょうか？
災害対応	・その他として、行政との災害時における連絡協調について協定を結び、共に災害についての対応を敏速に行われるよう活発な取り組みが行われるようになりました。市民にとりましては何よりも業界に対しての信頼度が高まったものと思います。これらLPガス業界の熱心な取り組みが全体的に信頼度の指標となっています。このような方向についての業界の意見、行政の考え方をお聞かせください。
災害対応	・災害時、ガスの炎を見ることで安心感を生み、不安に落ちつづされる気持ちを元気づけてくれたことが分かってきました。そこに期待しています。
災害対応	・災害時に大いに期待します。
災害対応	・災害時、都市ガスの配管が断ち切られると復旧に日数がかかりますが、LPガスはボンベを設置すればすぐに使用できるので、災害国日本には必要なエネルギーだと思いました。
災害対応	・言葉は聞いているが、詳しい事がわからない。
災害対応	・申し訳ありません、存じ上げませんでした。
流通	・業界の自主ルールである販売指針が徹底されていないことは問題であり、一層の改善努力を求めたい。
流通	・マスメディアや広報誌を使ったPRや広報活動、研修事業に取り組むのであれば、価格の適正化やサービス向上など、顧客満足度を高める努力を優先して進めて頂きたい。
流通	好対応・好事例ばかりでなく、その逆事例も集積し、販売事業者への指導等に役立てていただきたい。
流通	・問題は、指針と現状のギャップ認識及びギャップ解決の行動計画作成と計画の推進で、消費者に支持される、LPガス販売の実現です。(このことなしには、押し寄せて来るエネルギー大競争時代をLPガス業界は生き残れないと思います。) LPガス業界には、中小零細業者も多くあり、「LPガス販売指針」を入手しても単独で指針を実現できない業者も多いと思います。 指針についての学習会開催やギャップを埋めるためのシステムサポートが必要です。
流通	・おつくりになっている、「LPガス販売指針」の消費者版「LPガス利用者ガイド」を消費者団体と協働で作成してみてはいかがでしょうか？
流通	・消費者団体として、LPガスの特性、排気ガスがクリーンで環境にやさしい事・分散型エネルギーで災害時では活躍したエネルギー源である事等を評価し、業界の発展を願っています。また、過日出されました「LPガス販売指針」が目指している姿は、消費者としても納得する内容が多く、実現を期待している事。
流通	・平成27年3月改訂のLPガス販売指針(一般社団法人全国LPガス協会作成)の徹底が求められるところですが、これをいつまでに、どのように実現する考えか、販売事業者、業界側の具体的な方策をお聞きたいと思います。
流通	・LPガスは大事なエネルギーです。 販売事業者の方々にこれからがんばっていただきたいと思います。
流通	・最新型のガスコンロが使える、料理できる事。 料理のメニューを考え、参加下さる皆様に満足していただける様、努力し楽しみたいと思っています。
流通	・今の所、何もありません
流通	・災害時の対応性が充実することで、たとえば、家庭で分散型ポータブル性のエネルギーが準備するようになれば安心出来ます。
流通	・ガス消費機器の情報が一堂にされた展示場所を教えていただきたいと思います。 パンフレットだけよりもっと身近に見ることがあればと感じます。
流通	・新しい情報を開示するイベントが地方でも受けられるようお願いしたいと思います。 特に女性が参加出来る場を利用してほしいと思います。 「防災意識を考える」をテーマにして是非各地域を対象にして消費者活動をやるように「次年度」の活動にしていきたいと考えています。
流通	・個人のお店なので今後の期待は何もないと思います。
流通	・情報提供は充実しているとは思われません。
流通	・振興センター等からの働きかけで、変わると思いたい。私達の小さな声と、どう声に出してみようか思案中。
流通	・現状では電力への依存が多いです。
流通	・LPガスは自由料金だと知らない人はまだかなり多いと思います。説明不足です。
流通	・LPガスの販売業者は顔見知りです。いろいろな用事も頼めるし融通も利かせてくれて、たすかります。こんな点等を利用してもっと積極的に推進をすればよいと思います。 伸びる点はいっぱいあり、電力には負けたいと思います。
流通	・ハウスメーカーの施工住宅はだいたいIHが取りつけてあります。LPガスももっと施工業者にPRしてはどうですか。
流通	・暖房用の器具をより安全で便利に使用できるように研究・開発して頂けるのを待っています。
流通	・今期一度だけ、クリーンエネルギー「LPガス」家庭用周知文書というのが郵便受けに入っていたが、店からの説明はない。しかし灯油時代から約60年のつきあいが店舗であり、毎月集金に来てもらい、その時いろいろと質問したり、意見交換しているので、信頼関係は良いと思っている。 敦賀の団体から今年になって、冊子が入らず情報提供なしという事があった。 友人の団地全体を集中管理している会社は、ガス漏れ点検をさせて欲しいと各戸まわり、家の中の電気・ガスについて必要以上に使っていないか診断をして、使い方の指導をしてくれる。月初めのメーター点検時には、パンフレットを置いていくという販売事業者もあった。販売事業者によって温度差がある。
流通	・LPガスが独立したエネルギーと位置づけられた事は評価する。それだけに組織の強化や指導が望まれる。 一部、家族で営業している店もあるだけに、力強い支援が必要ではないかと思う。

流通	・昭和37年結婚以来町内の個人LPガス販売店からの購入を続行しています。危険物取扱店許可者の店頭掲示板の記載された店主さんが亡くなられ10数年後も改名されないまま営業されていますが？
流通	・次世帯に引継ぐ年令に達していますので考えていません。
流通	・使用料(消費)を集金に来て下さる時だけの面談です。
流通	・安全なガス器具のニュースが欲しい。
流通	・都市の会場より、地方の小さい団体でのイベントに参加して欲しいと思います。
流通	・安心して続けられますよう。
流通	・家の敷地内にプロパンガスがあるので、災害時に不安はあります。特に期待はありません。
流通	・電化生活になっている今、LPガスとの両立は難しいと感じています。何かよい方法はあるのかと思います。
流通	・より身近な事業者として、今後も地域を見守る役目も大きいと思われます。 コミュニケーションをしっかりと、信頼関係を築いて頂けるように希望します。
流通	・ガスボンベがより近い所にある為に、安全についての不安は当然あると思います。いざという時の為に十分な説明をお願いします。ボンベの交換時に、一声かけて頂けると安心ですね。
流通	・1.PR不足ですが、十分に説明をお願いします。
流通	・2.高齢者の一人暮らし、老化現象もあることでしょう。火を取扱う上での事業者としての取組みを十分をお願いします。
流通	・3.定期的に訪問する事業者として、十分なコミュニケーション、安否確認等も重ねてをお願いします。
流通	・情報提供としては、年1回LPガスフェア開催のちらしが入ってくるだけ。
流通	・販売事業者との接点は、まるでない。知らない間にボンベの交換に来ている。
流通	・現在の状況では期待できないと思う。 以前はガス屋さんがよく訪問し交流があったが、以前の様な「つきあい」が戻れば期待できると思う。
流通	・北海道内のLPガス販売事業者は、積雪寒冷地という不利な経営環境の中で営業し、住民のライフラインを守っているが、1200社以上に上る事業者の中には、消費者に対する説明や情報提供、契約や料金システムの透明性確保などの点で不十分な対応事例も目立ち、価格に対する消費者の不満や契約上のトラブルも多い。
流通	・年の暮に届くカレンダーにLPガスの緊急連絡先があるのも好感が持てます。
流通	・情報提供、コミュニケーションは、ほとんどない。
流通	LPガス事業者は、ガス器具等の販売店であることから、器具等を買う必要もなく、コミュニケーションはとれていない。料金は振り込みということで、ますます会う機会もなく、事業者との信頼向上をのぞんでいるところです。
流通	・個々の消費者に対しては十分なされているとは言えない。
流通	・安全性の確保を図ることはもちろんのこと、個々の消費者に対しより一層の情報提供等が望まれる。 また、超高齢化社会を迎えての適切な対応が望まれる。
流通	・いずれにおいても、消費者の関心の度合がどうかと思う。
流通	・最新型のガスコンロが使える、料理できる事。 料理のメニューを考え、参加下さる皆様に満足していただける様、努力し楽しみたいと思っています。
流通	・消費生活相談で受けた高齢者の相談で、LPガス事業者さんに立ち会ってもらい協力していただいたことがあると聞いています。(お風呂が壊れたときに呼んだ水のトラブル解決事業者とのトラブルです)
流通	・これからの超高齢化社会で、消費者の生活を見守って行くという気概で、社会の安全貢献して欲しいと思います。
流通	・窓口がしっかりしています。
流通	・以前は高齢者になったら、安全・安心を考えるとLPガスの方が好きだけれどオール電化にする方が良いかなどの思いがありました。しかし現在ではSiセンサーコンロやマイコンメーターで集中監視されているし、これからもずっとLPガスでいけるのうれしいです。
流通	・事業者からのお買上明細書のハガキでの宣伝やチラシを持っての訪問等の情報提供はあります。
流通	・数日後に必要な5kgボンベが充填期限が切れていて充填できなかった時、替わりのボンベを貸してもらったり、その時のこちらの要望にすぐ対応してくれる。お客様目線に対応してくれるのが嬉しい。
流通	・興味はあります。もしも、取りつけしたら10年は使用します。今まで業者からは興味を引く説明はない為、わかりません。
流通	・利用者の主婦の誕生日プレゼントに生花鉢を以前は花屋さんが届けていたが、二年後から事業者の社員さんが届けてくれます。
流通	・販売店からの案内のみで良いニュースが聞けない(JA)灯油の例で安売りの時期、〇〇があるが、ガスはそうならないと思います。サービス(おまけ?)の時期があってもよいのではないかと。
流通	・オール電化でも、ガス器具も必要だと思う。 日常二種のエネルギーの使い分けを広報されたい。
流通	・良くやって頂いております。
流通	・LPガスは身近なエネルギー又は災害に強いエネルギーとして1Hにかわられた人たちが又、元にもどりたいたなげいています。
流通	・LPガスを使用して良かった安心安全で留守にしても心配ないと今後もこのままでいいと…。
流通	・安心・安全の場合、いつでも来てくれる。
流通	・戸建て住宅と集合住宅では、格差が大きいと思われる。 ・戸建ての場合、比較的コミュニケーションがとられている。 ・集合住宅の場合、顔の見えない関係が続いている。
流通	・LPガス業界関係者からの消費者への一方的なPR活動だけでなく、LPガス業界関係者が消費者の意見・疑問を聞き、応える双方向のコミュニケーションの場を期待します。
流通	・十分とは言えないケースがかなりあると思います。
流通	・世帯を持つ前から同じ販売事業者との付き合い(約62年間)ですのでコミュニケーションはとれている。
流通	・仕事柄、LPガス等の情報を得る機会が個人的に多いので、とても信頼し安心していますが、一般の消費者の方々にも同じように思っ欲しいといつも思います。
流通	・我が家のLPガス取扱い販売業者は地区内の燃料販売店であることから販売店の御家族や従業員さんたちも全員顔見知りの方々です。 毎月の使用量検針時に行う保安点検やガス補充時等も必ず声掛けがあり、いつでも気軽に相談可能状態です。 全面的に信頼しております。
流通	・特にありません。 信頼性が高く、安心しております。
流通	・LPガス関係のみならず、消費者個々の需要と供給のタイミングが合わないとなんな広報活動も伝わり方が薄いと思う。しかし、販売業者が地域内の販売店等であることは消費者と密接していることで信頼性が強く安心して聴くことが出来る。
流通	・販売店からのこぼれ話として 一人暮らしや老人世帯の家族からは他店取扱いガス器具でありながらも時間外で連絡が取れないからと無理を承知で頼まれることも有るといふ。 出掛けて見ると些細な事や本人の勘違いであることが多かったとのことでした。(当然、取扱い業者への伝達済みとのこと) → 販売店の地域性のよしみからでしょうか…

流通	・東日本大震災の時、避難所での炊き出しにLPガスを使いました。いつでもどこでも使用可能を体験しました。また、悲しい場面での体験だけではなく、キャンプや野外活動時の楽しいひとときにも使用しています。元栓をしっかり締めれば安全に火の始末ができ、どこにでも持ち運びができる手軽さがいいですね。
流通	・事業者との直接的なコミュニケーションの機会はほとんどないが、毎月の検針等により、ガスボンベ等の安全性は確保されているものと考えている。
流通	・安全性は確保されているものと考えているが、今後の超高齢化社会に伴ってなお一層の消費者への情報提供やコミュニケーションが求められるものと思う。
流通	・今のままで良いと思います。
流通	・最近はしっかり情報提供があるので安心してます。
流通	・毎月の利用内容を見て確認していますので、料金改正についても理解出来ます。
流通	・毎月一度メーター調べの方が来所、今月は〇〇〇円です。どうもありがとうございました。他の言葉はございません。
流通	・集金の方がお店からたのまれてくるので、余分なお話は致しません。
流通	・お店からの説明、情報提供は特にありません。
流通	・LPガス、定期的に交換に来て下さるのでほとんど会話がございません。我が家では、ガス器具が古くなり取り替えようかと思っているので、販売事業者におあいましたらどんな器具が良いか相談したいと思っておりますが、なかなか言葉をかけてくださらないので自分判断で定めようと思っております。災害時に対応出来るのはLPガスが一番と考えております。なかなかまとまらない回答で申し訳ございません。
流通	・コミュニケーションはとれていると思う
流通	・苦情として情報提供が不足しているようなものは見受けられないのですが、もっとコミュニケーションをとっていれば、苦情にならなかったのではないかとと思われることはあります。例えば、値上げについての説明がなかった、価格表を欲しいと言っても渡してくれない、ガスコンロは危険だからオール電化にしようと思うなどです。配達時に声をかけないという話も出てきます。
流通	・高齢者世帯が増える中で、配達時の声掛けなど、心配りができる信頼関係の構築が期待されます。電気屋さんなどが、乾電池1本、電球1個から届けて困ったことを助けてくれるサービスと同じように御用聞き的な関係に立ち戻っていただきたいと思っています。
流通	・消費者とのコミュニケーションを大切に、見守りネットワークの役割を果たしていただきたいと思っています。
流通	・自宅…接点ほとんど無。1ヶ月単位の使用料も集中管理らしい。他…加工所として10年程取り引きのあったガス会社は、とても楽しい、生活の知恵等々がいっぱいの情報紙が、ガス使用料のお知らせと共にポストに入れてありました。情報満載でした。
流通	・販売業者とのコミュニケーションが良くとれています。
流通	・長期間ガスを供給していただいているので、他の販売店と比較することもなく、ガス販売事業者との付き合いはマンネリ化しています。マンネリ化により、コミュニケーションは不足していますが保障サービスは頼みやすい環境と言えます。
流通	・窓口がわかりやすい。
流通	・最も充実した信頼関係が確立されています。
流通	・事業者との信頼が構築されているので期待通りです。
流通	・現状の継続です。
流通	・毎月ガスボンベ交換の方に会うのみ。使用料等は自動で計算され、自動で銀行から落ちる。
流通	・顔をみる人がない。ボンベ交換のお兄さんと会うのみで、自動計量、自動銀行落しです。知らない人が多い。PR不足をみます。
流通	・現代は日中留守の家も多く、事業者の方も訪問が難しいと思います。私の家では30年の信頼があるので必要に応じてこちらからの問い合わせに親切に対応していただけたので満足しています。
流通	・これまでは近所の業者さんで顔見知りの感覚でおつきあいをしていた、それがあたりまえでしたが、世代交代が進む時代にあって今までみたいな関係ではいなくなり、すべてが事務的な扱いになってくる。
流通	・まったく業者からの情報提供はありません。こちらから聞けばありますが、聞かなければなりません。よい商品は沢山ありますが、業者はもっとアピールする必要がある。
流通	・機具の安全性は、器具が進化して安全性が高くなり日常の使用時には不安が少なくなってきていると思います。反面、簡単な疑問点やよりより使用方法例などを知ることも少なくなってきているようです。これは提案ですが、やはり何か月に一度でも納入業者の方とFace to Faceでお話できる機会があればいろいろな疑問点を教えて頂けるのではないのでしょうか。高齢者の方が増加する中で見守りの一助になれば良いと思います。
流通	・消費と事業者との話し合いの機会が必要。
流通	・全て普通(良)。情報提供一主にメール便。
流通	・消費者の高齢化に伴って、事業者による必要事項の説明責任を果たすのが、難しくなっているのではないかと、推察します。
流通	・定期的な学術者、行政、消費者団体等の会議で、苦情の内容や対策が十分にされている。
流通	・事業者・消費者、両者の行事を通して交流が活発に行われている。
流通	・くらしを支える重要なエネルギーである、又、緊急エネルギーとしての評価は、最近特に高い。一家庭で、電気・ガス・LPを利用しようとする消費者も多くなりつつある。
流通	・時々チラシを配布して頂いていますが直接職員さんとの話しは出来てません。
流通	・すべてに対して「いい関係」で暮らしています。
流通	・田舎暮らしで、近隣とのコミュニケーションよい。
流通	・どうしても村内は高齢化になって来る。故にあまり難しい物よりも使い馴れたLPガスはみんなから喜ばれている。
流通	・○客:〇〇場所にガスボンベお願いします。 事:「ハイ」ありがとうございます。何をされるのですか? コンロは? 器具は? ふたまた必要ですか? 次から次へと我が事のように問いかけて下さいます。(いい関係)とはこの事でしょう。事業者と客とのコミュニケーション良く、ついつい甘えてしまう私たち。少しは軌道修正しなくてはならない私たちです。
流通	・一心同体の間柄。
流通	・使用料金について 地方在住の私宅は軒下に10k~20kのボンベ型を設置しています。使用料メータも既定通り有りますが、何時ボンベが更新されたか?メータの検針は何時来てくれたか音沙汰がありません。電気料金、水道料金の様に規定された使用料領収書が発行統一されないのでしょうか。改善を望みます。
流通	・配達のみ業者がほとんどと思われる。新しいニュースを届けられるのもサービスだと思うが。
流通	・新聞でいろいろ情報等、教えてもらっています。
流通	・配達の方からは伺う事は有りませんが、色々な所でのPRは耳にしています。

流通	・一人暮らしの家庭を訪問しLPガスについてのお話を聞いて参りました結果、販売事業者との関係はすこぶる良好と感じまし
流通	・ガス充てん等の管理をして頂いていますが、コミュニケーション信頼という側面からは何ら関与はありません。
流通	・声として、便利が良い。また電話で使用量、安全面の確認についても対応がよく満足しています。
流通	・イベント等(例えばガス展)での説明は受けませんが、家庭を訪問しての情報提供はありません。PRを上手にすると大切でしょう。
流通	・「LPガスお客様相談窓口」の存在は、もしかの対応に安心です。コミュニケーションでは、それを嫌がる消費者や面倒なことを考える消費者が多くなり、個別の対応は少なくなったように思えます。また、事業者も効率的事業になり、過去の地域のガス屋さんも少なくなり、センターからの配送が多くなり「声かけ」のコミュニケーションは、ほとんどないように思えます。
流通	・長年取引しているので信頼している。
流通	・検針に来られた声をかけていただき、新商品紹介とか、ガスの使いすぎ等について話して頂きたい。年回1~2回位しか、お顔を拝見することがない。(外出している事も多いので仕方がないのかな)
流通	・他のエネルギーの配給も、信頼関係で十分なコミュニケーションは取れている。
流通	・2. コミュニケーションの充実・・・声かけ良好です。
流通	・コミュニケーションが全くとれていない。使用量の伝票も入らない。数回電話をしたが、その時だけ入るだけである。安全点検の訪問の時に、不具合等質問をして見てもらっている。
流通	・私の地区ではうまくいっています。
流通	・宮崎の地元の人達とは、うまくやっていると思いますが、他県から、市外からきた人達とは(特に学生の親)話しが少しずれているようです。
流通	・給油の時は必ず声かけをする。
流通	・使用についてわからない所は電話するとすぐ来てくれる。
流通	・普段の暮らしの中で、十分な情報提供やコミュニケーションがとれていると実感することはありませんが、とどこおりなくガスを供給していただいていることで、保守や在庫点検、交換などがしっかり行われていると感じます。
流通	・大変便利させて頂いております。
流通	・安全安心です。
流通	・声として、業務を変えようとしたら、配管や計器を買い取るように言われた。ポンベの切り換えを自分でしていたが、事業者がしてくれるようになったので安心です。
供給	・特に意識したことはありませんが、ポンベ2本設置されているので安心して使っていますし、安全で便利があたり前のよう暮らししています。
供給	・原子力発電事故後、新たなエネルギーの電源として期待したいので。
供給	・周期的に来てくれるのでガス切れがなく良い。
供給	・昔にくらべてガス切れもなく、ガスもれもない。
供給	・田舎でも電気のように便利にしてほしい。
供給	・3. 便利・・・ガス切れがなく、いつでも使える状態であること。
供給	・<参考資料を読んでわかったこと> 供給ルートがわかりました。シェールガス随伴LPガスの輸入のこと、エネルギー自由化で大競争が起こることなど、新たな情報を得ることが出来ました。
供給	・日曜夜の“夢の扉”をよく視聴しますが、日本でのシェールガス採掘の話もありました。期待しています。
その他	・省エネ・省資源、環境問題への貢献につながる商品の普及に期待したい。他のエネルギーと比較したコスト面の優劣に関心が
その他	・炊事用コンロ等には興味がある。
その他	・次期、リフォームの時使用を考えます。
その他	・Siセンサーコンロは、みんなに使ってもらいたいと思う(特に高齢になっての消し忘れの人)エコジョーズも熱効率が有効に使われていると聞きました。
その他	・期待したいと思いますが、他のエネルギー源との、コスト面での優位性もしくは、同等の条件確保が必要。
その他	・省エネルギーに資する商品であれば消費者にとっても有益なものと思います。
その他	・家の中の暖房はガスです。大変便利です。
その他	・部屋が短時間で暖まるので便利です。
その他	・省エネと停電等、災害等に備え、対応したいので。
その他	・エコファームにとっても興味あります。しかしエコジョーズとはどのようなもの？
その他	・ガス機器等購入にあたって、消費者に近いのは工務店等であり、ガス事業者ではありません。
その他	・ガス暖房は、とても便利だと思う。
その他	・私は安全で臭わない、熱効率も高く、好きです。
その他	・今年台所をリフォームする時、Siセンサーコンロ、エコジョーズを取り入れたいと考えています。
その他	・近々台所をリフォームする予定だが、主人は「うちは高齢者でオール電化にするんやろ」と言う。安全安心と言うとオール電化と思っているという事は電化のPRが上手であるという事。「LPガスも安全安心な機器や装置が出来たからずうとLPガスのままよ」そして、これからの高齢化社会に向けて、より一層安全安心な商品の開発して下さい。
その他	・少々あります。
その他	・既に数年たつので買い換えを考えてみたいが、ガスにするかどうか選択中です。
その他	・省エネルギー、環境保全、温暖化防止等の視点でとても興味があります。
その他	・Siセンサーコンロとエコジョーズは現在使用中。快適。エネファームの導入には150万円と高額な出費で、新築・改築の予定もないので考えていません。将来、省エネルギー社会で普及していくと思います。ガス暖房商品は配管等を考えると面倒なのではないか、と消極的です。
その他	・<ガス器具について> 以前のガス風呂釜、週刊湯沸かし器は点火の際に火がつかなかったり、ポツと大きい音を立てたりして、毎回恐怖をおぼえていましたが、時代が変わり、給湯器で蛇口をひねれば湯がすぐに出るので、ありがたいです。ガスコンロのグリルが片側に着火せず不完全燃焼をしますが、買い換えるべきでしょうか。手入れ方法は？
その他	・興味はあるが、料金を比較し考慮中である。
その他	・情報で知る限りでは期待しています。
その他	・どこで使っても鍋が使用できる(IHの場合は不都合あり)。だれでも利用でき戸惑われることがない。屋外でも調理の場合等が特に便利。
その他	・昨年比べて興味はある。Siセンサーコンロを使用しているが、最初は使用に操作に戸惑ったこともあるが、タイマー・温度測定等便利。
その他	・暖房商品は実に多様となり、特にストーブ・コンロは断熱LPガスの方が効率がよい。今後期待できると思われる。
その他	・今のガス台は安心安全ですが、機能がよく使いこなせない人がいるようです(年輩)。
その他	・ガス暖房商品等のよさは知ってますが、実際には、みてないのでそれぞれの電気店にはガス台はあまりおいてなく商品が陳列してありません。

その他	・LPガス販売指針が平成27年3月に改定されたが、その背景には消費者とのトラブルが続いている面があるのではないか。
その他	・エネファームについては興味がありますが、よくわからないので推測の域を出ないのですが、今回電氣量が上がることにより、オール電化住宅に住んでいる人の悲鳴がきこえるようで、そんなことになるのではという懸念はないのでしょうか？
その他	・LPガスをめぐる種々の問題点は、先にあげたような点も含め、かなり以前から指摘されているところですが、消費生活相談やホクネットが受けた相談等の状況においても、一向に改善が進んでいないという印象があります。業界関係団体を中心とした、販売事業者側の自主的な努力のみによる改善はもはや期待できないところであり、液石法を根拠とする行政処分や指導を徹底することはもちろん、現行法で不十分な点は法改正によって対応することも積極的に検討していただきたいと思います。
その他	・Siセンサーコンロ、エコジョーズ、エコファームなど、安全性の向上やコージェネの導入など良いことと思います。
その他	・使用者の高齢化、環境問題の深刻化、迫り来る自然災害の脅威、エネルギーの効率的利用意識、世帯構成人数の減少、経済的負担能力の低下などのくらしを巡る状況の大きな変化を感じ、興味があります。
その他	・現状維持でまんぞく。
その他	・4. 快適・・・火力が強いこと。
その他	・＜消費者の生活の変化について＞ わが国世帯のLPガスは50%ほどであるが、都市化が進むと都市ガス設置が増えていくと思います。共働き世帯の増加で食の簡便化が好まれ、電子レンジで温めるだけの調理、あるいは手のかかる煮物は敬遠されガスの使用量にも影響が出ると思います。また、少人数(単身者・高齢者のみ)も使用量に差が出ると思います。
その他	・LPガスは鍋を選ばないので、便利である。 炎で「あぶる」ことができる等、便利な利点がある。
その他	・私の地区では、安全性を考え電化にしたいと思う方と販売店がいいので使いなれたLPガスで良いと意見がわかれています。
その他	・自然エネルギー、クリーンエネルギー、再生エネルギー等に最近はエネルギー業界も実に多角的になりました。行政の対応、業界の今後の対応、シェールガスの利便性、供給体制・需要に対応する多くの選択肢が考えられると思いますが・・・。
その他	・風呂等ガスを利用しているので今の所不足はない。 ただし料金が高価である。
その他	・むずかしく考えていず、いま使用しているのが当然と考えている所がある(生活の一部になっている)。